

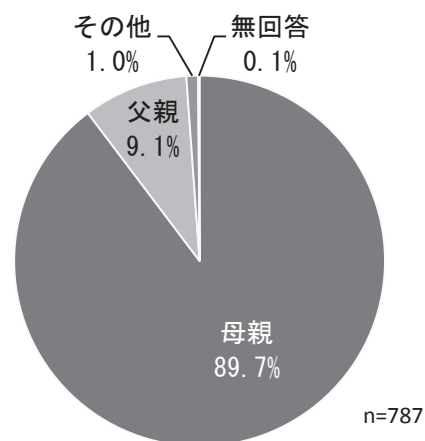
Ⅲ 小学生調査集計結果

1 回答者・対象者の属性

※学年の無回答等が14件あり、有効回収801件のうち787件を小学生調査の回答数（「全体」と表記）としています。

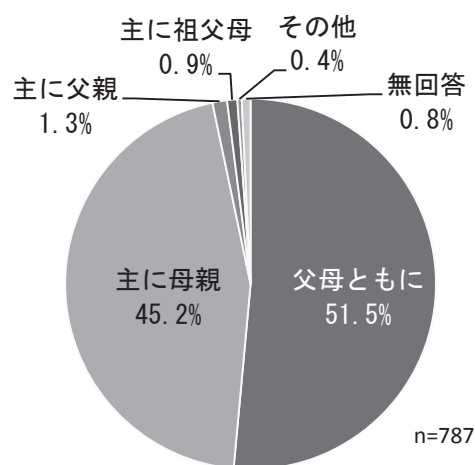
問1 回答される方は、対象のお子さんからみてどなたですか（1つに○）。

回答者は、母親が89.7%と9割を占めています。



問2 対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか（1つに○）。

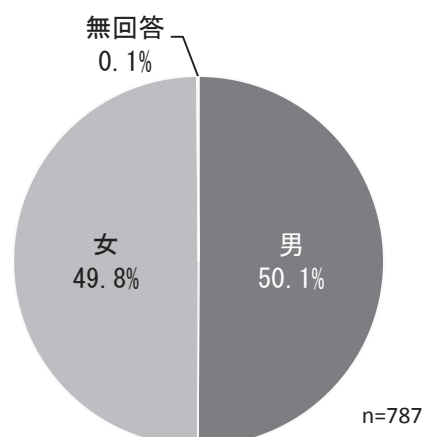
子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が51.5%と過半数を占め、次いで「主に母親」が45.2%となっています。



問3 対象のお子さんについて性別、学年をお答えください（1つに○）。

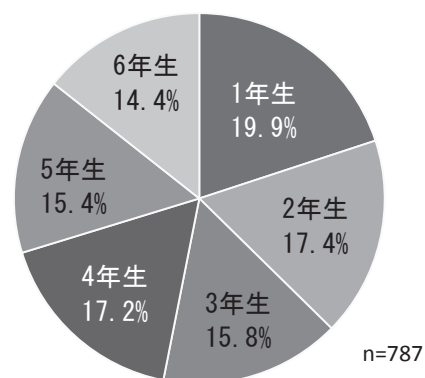
(1) 性別

対象のお子さんの性別は、「男」が50.1%、「女」が49.8%となっています。



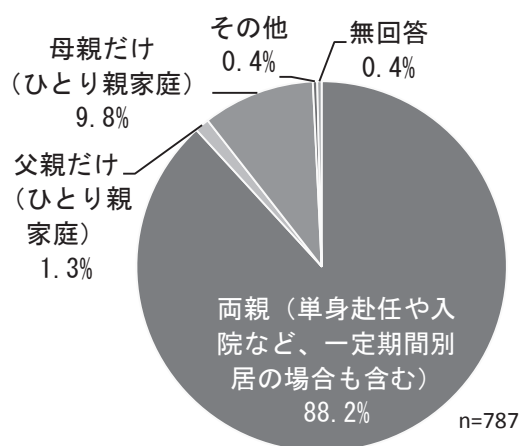
(2) 学年

対象のお子さんの学年は、「1年生」が19.9%と最も多く、次いで「2年生」が17.4%、「4年生」が17.2%などとなっています。



問4 対象のお子さんの主な保護者はどなたですか（1つに○）。

主な保護者は、「両親（単身赴任や入院など、一定期間別居の場合も含む）」が88.2%と最も多く、次いで「母親だけ（ひとり親家庭）」が9.8%、「父親だけ（ひとり親家庭）」が1.3%となっています。



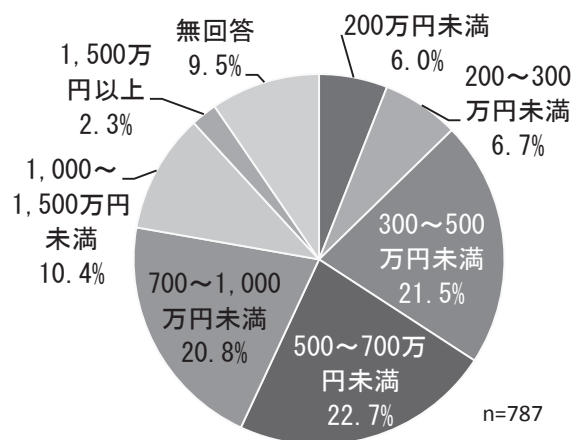
問5 お住まいの住所をご記入ください。

居住地区は、全体では「両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋」（14.5%）が最も多く、次いで「吾妻橋、東駒形、本所、石原、亀沢、横網」（14.4%）、「墨田、堤通2丁目、東向島4～5丁目」（12.6%）などと続いています。

	全体	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
合計 (上段:n, 下段:%)	787	157	137	124	135	121	113
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
墨田、堤通2丁目、東向島4～5丁目	12.6	9.6	14.6	12.1	8.9	13.2	18.6
八広、東向島6丁目	11.4	10.8	11.7	15.3	8.9	9.1	13.3
東墨田、立花	10.7	14.0	5.1	7.3	13.3	11.6	12.4
東向島1～3丁目、堤通1丁目、向島	11.3	13.4	7.3	11.3	11.9	18.2	5.3
京島、文花、押上	12.1	11.5	14.6	8.1	14.1	11.6	12.4
吾妻橋、東駒形、本所、石原、亀沢、横網	14.4	15.3	20.4	11.3	14.8	9.9	13.3
業平、横川、太平、錦糸	11.3	9.6	12.4	14.5	9.6	9.1	13.3
両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	14.5	14.0	12.4	16.9	15.6	17.4	10.6
無回答	1.8	1.9	1.5	3.2	3.0	0.0	0.9

問6 昨年1年間の世帯の総収入はどのくらいですか。お差し支えなければお答えください（1つに○）。

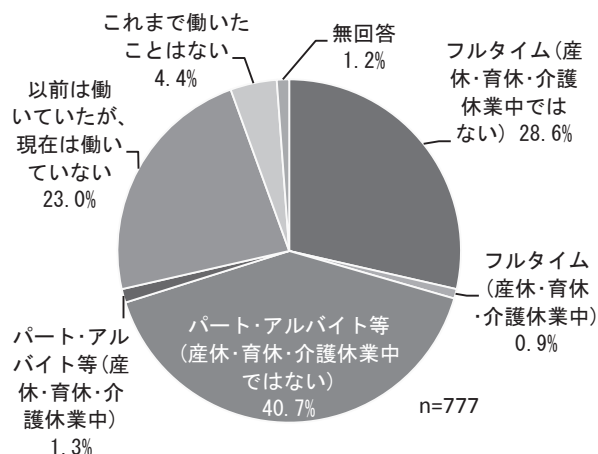
昨年1年間の世帯の総収入は、「500～700万円未満」が22.7%と最も多く、次いで「300～500万円未満」が21.5%、「700～1,000万円未満」が20.8%などとなっています。



問7 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください（1つに○）。

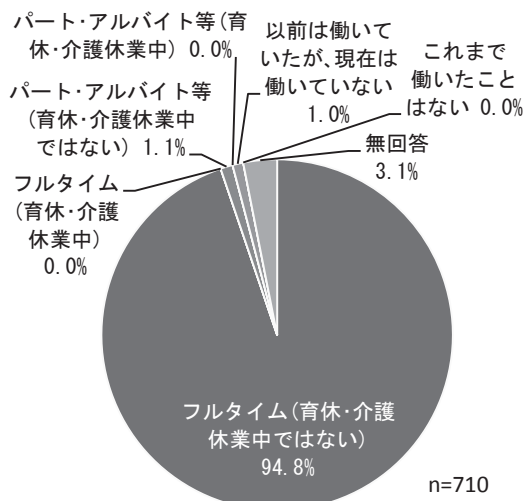
(1) 母親

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」が40.7%と最も多く、次いで「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」が28.6%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が23.0%などとなっています。



(2) 父親

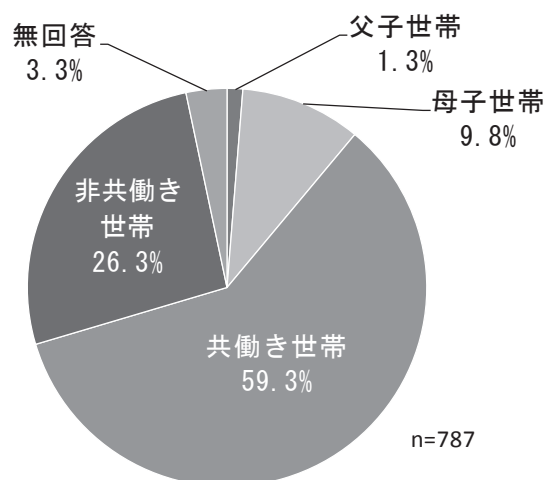
父親の現在の就労状況は、「フルタイム（育休・介護休業中ではない）」が94.8%と9割以上を占めています。



■家庭類型（問4・7による再区分）

問4主な保護者と問7保護者の就労状況より再区分した各世帯の家庭類型は、「共働き世帯」が59.3%、「非共働き世帯」が26.3%などとなっています。

また、学年別にみると、学年が上がるほど「共働き世帯」の割合が高くなる傾向があり、「非共働き世帯」との差が大きくなっています。



	全体	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
合計	787	157	137	124	135	121	113
(上段:n、下段:%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
父子世帯	1.3	0.6	1.5	1.6	0.7	1.7	1.8
母子世帯	9.8	7.6	8.8	8.9	7.4	15.7	11.5
共働き世帯	59.3	54.8	56.9	58.9	63.0	59.5	64.6
非共働き世帯	26.3	32.5	28.5	28.2	26.7	19.8	19.5
無回答	3.3	4.5	4.4	2.4	2.2	3.3	2.7

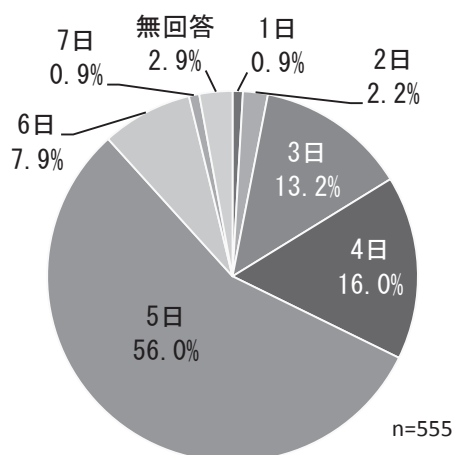
「問7で1～4（フルタイムまたはパート・アルバイト）に○をつけた方にうかがいます。」

問8 就労日数や就労時間等（残業時間を含む）をお答えください。

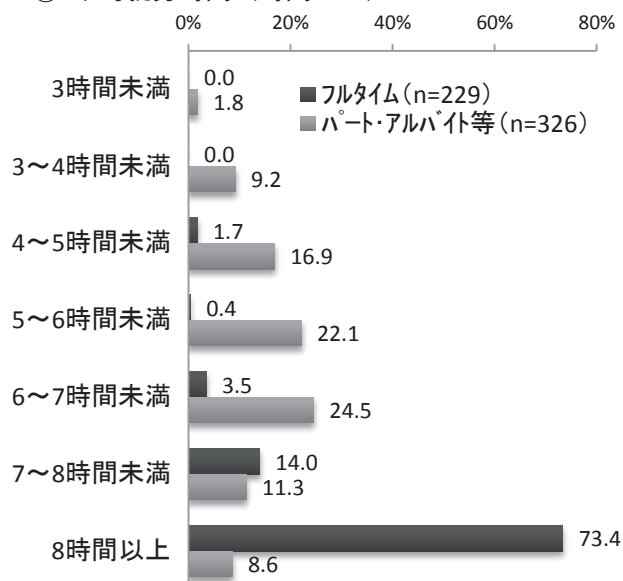
(1) 母親

母親の就労日数は、週に「5日」が56.0%と最も多く、次いで「4日」が16.0%、「3日」が13.2%などとなっています。

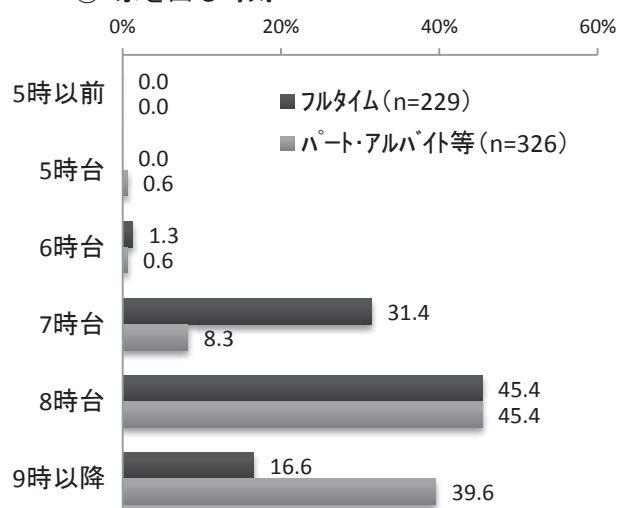
① 就労日数（日／週）



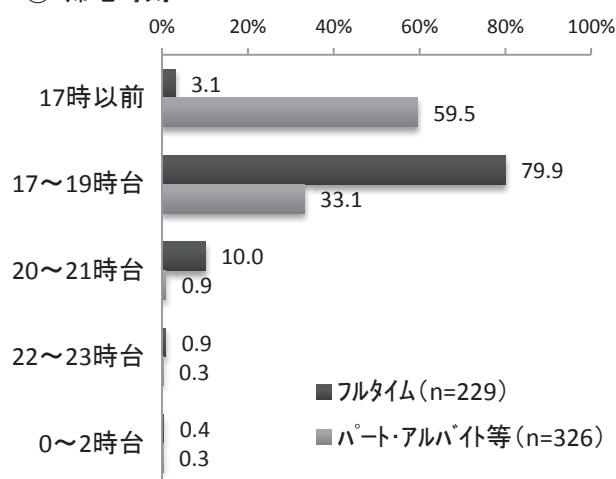
② 平均就労時間（時間／日）



③ 家を出る時刻



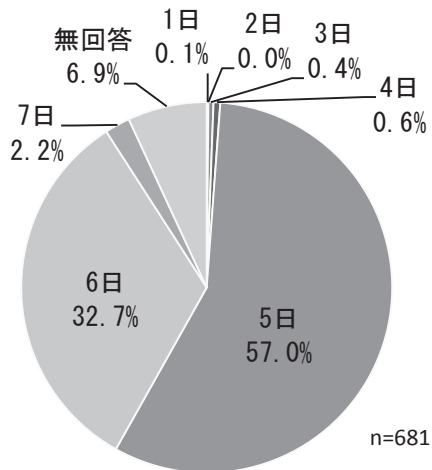
④ 帰宅時刻



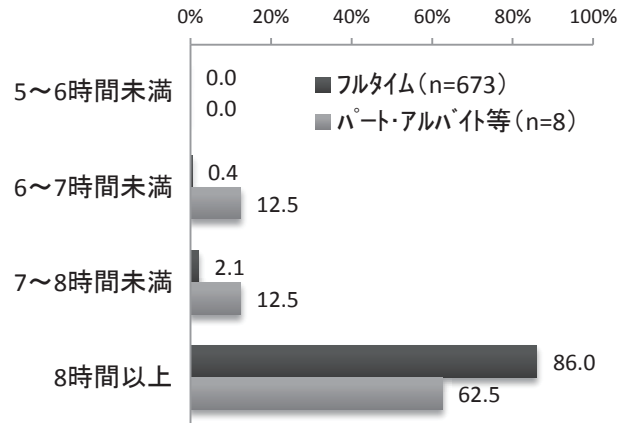
(2) 父親

父親の就労日数は、週に「5日」が57.0%と最も多く、次いで「6日」が32.7%などとなっています。

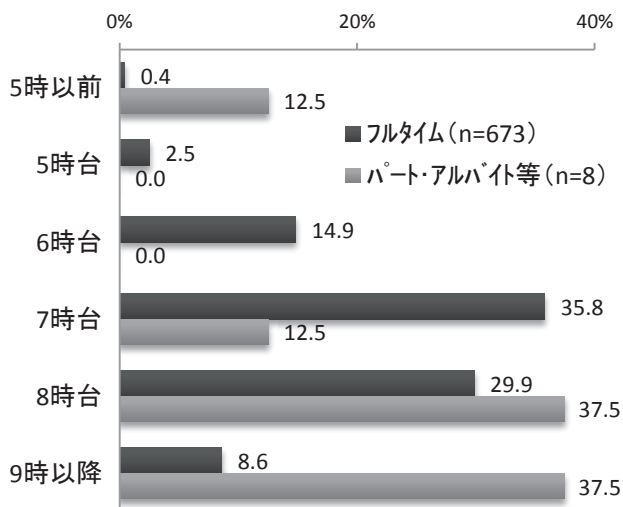
① 就労日数（日／週）



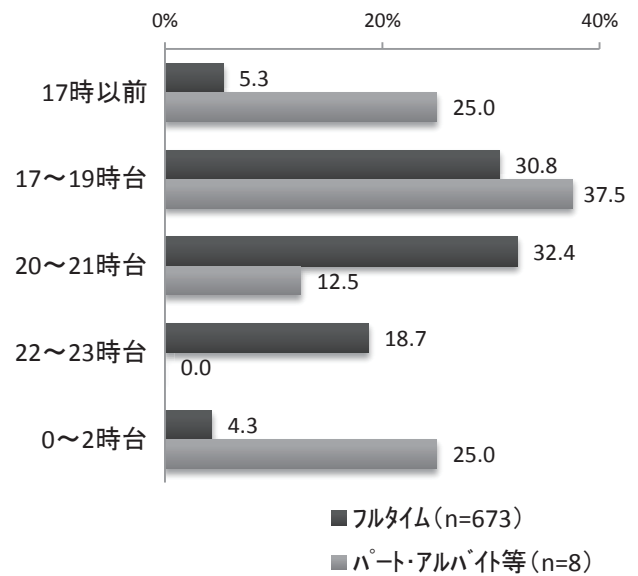
② 平均就労時間（時間／日）



③ 家を出る時刻



④ 帰宅時刻



≪問7で1～5に○をつけた方（過去も含め働いたことがある方）にうかがいます。≫
 問9 対象のお子さんは、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していましたか（あてはまるものすべてに○）。

現在働いているまたは過去に働いていた人が利用していた事業について、回答者全体では「認可保育園」が49.4%、「幼稚園」が48.6%などとなっています。

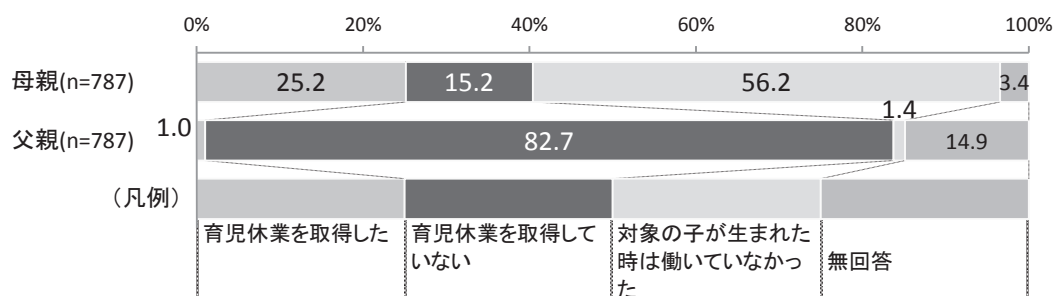
	全体	父子世帯	母子世帯	共働き世帯	非共働き世帯
合計 (上段:n、下段:%)	780 100.0	10 100.0	74 100.0	467 100.0	207 100.0
幼稚園	48.6	40.0	28.4	38.8	77.3
認可保育園	49.4	60.0	64.9	60.0	21.3
認定こども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模な保育施設	1.2	0.0	2.7	1.1	1.0
家庭的保育	1.4	0.0	1.4	1.7	0.5
事業所内保育施設	0.1	0.0	1.4	0.0	0.0
都の認証保育所	4.1	0.0	4.1	5.1	1.4
その他の認可外保育所	2.3	0.0	5.4	2.4	1.0
居宅訪問型保育	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0
ファミリー・サポート・センター	3.5	10.0	1.4	3.6	2.4
何も利用していなかった	2.1	0.0	1.4	1.5	3.4
無回答	2.3	10.0	4.1	0.9	4.8

2 育児休業等について

問10 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（それぞれ1つに○）

母親では「対象の子が生まれた時は働いていなかった」が56.2%と最も多く、次いで「育児休業を取得した」が25.2%、「育児休業を取得していない」が15.2%となっています。

一方、父親では「育児休業を取得した」が1.0%となっています。



「問10で「育児休業を取得していない」に○をつけた方にうかがいます。」

問11 育児休業を取得していない理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。

育児休業を取得していない理由については、母親では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が28.3%で最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が21.7%、「仕事が忙しかった」が19.2%などとなっています。

また、父親では「仕事が忙しかった」が38.9%と最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が29.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が28.6%などとなっています。

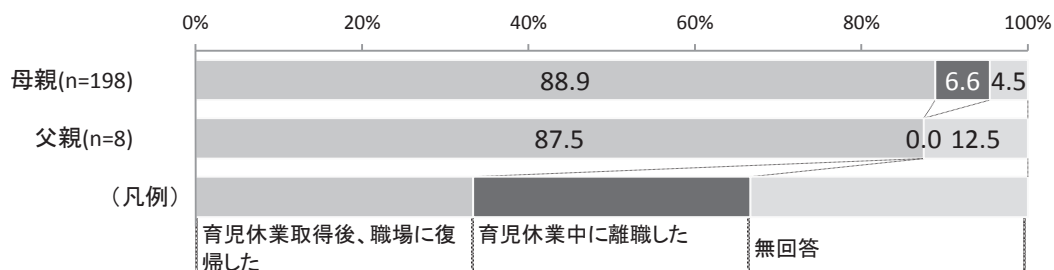
	母 親		父 親	
	n	%	n	%
全 体	120	100.0	651	100.0
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	20	16.7	186	28.6
仕事が忙しかった	23	19.2	253	38.9
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	13	10.8	9	1.4
仕事に戻るのが難しそうだった	21	17.5	37	5.7
昇級・昇格などが遅れそうだった	0	0.0	35	5.4
収入減となり、経済的に苦しくなる	21	17.5	145	22.3
保育所(園)などに預けることができた	20	16.7	25	3.8
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0	111	17.1
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6	5.0	193	29.6
子育てや家事に専念するため退職した	26	21.7	4	0.6
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	34	28.3	117	18.0
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	7	5.8	3	0.5
育児休業を取得できることを知らなかった	4	3.3	18	2.8
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	5	4.2	0	0.0
その他	14	11.7	40	6.1
無回答	11	9.2	95	14.6

「問10で「育児休業を取得した」に○をつけた方にうかがいます。」

問12 育児休業取得後の職場への復帰についてお答えください。（それぞれ1つに○）

育児休業取得後の職場への復帰については、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.9%、「育児休業中に離職した」が6.6%となっています。

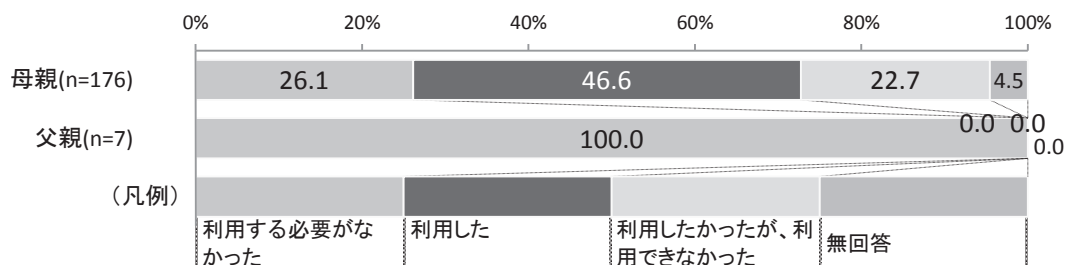
また、父親では「育児休業中に離職した」は0.0%となっています。



「問12で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。」

問13 育児休業からの職場復帰時には短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ1つに○）

母親では、短時間勤務制度を「利用した」が46.6%と最も多く、「利用する必要がなかった」が26.1%、「利用したかったが、利用できなかった」が22.7%と続いています。



≪問13で「短時間勤務制度を利用したかったが、利用できなかった」に○をつけた方にうかがいます。≫

問14 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。（それぞれ1つに○）

短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が55.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が52.5%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が35.0%などとなっています。

なお、父親では該当者がいませんでした。

	母 親	
	n	%
全 体	40	100.0
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	22	55.0
仕事が忙しかった	21	52.5
短時間勤務にすると給与が減額される	9	22.5
短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる	5	12.5
配偶者が育児休業制度や短時間勤務を利用した	1	2.5
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	1	2.5
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	14	35.0
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	4	10.0
その他	0	0.0
無回答	4	10.0

「問7で5～6に○をつけた方（現在は働いていない方）にうかがいます。」

問15 就労したいという希望はありますか（1つに○）。

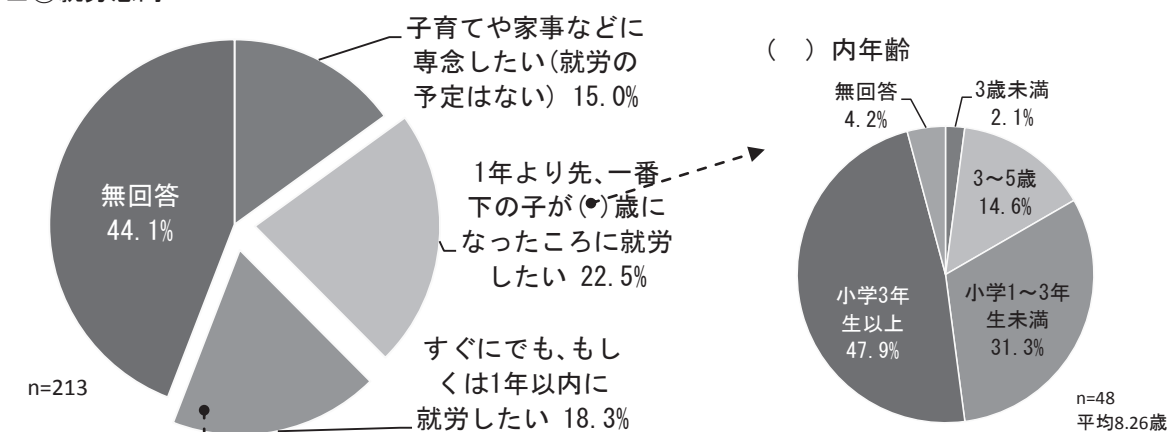
問7で現在は働いていないと回答した人の今後の就労意向については、母親では、「1年より先、一番下の子が（ ）歳になったところに就労したい」が22.5%と最も多くなっています。働き始める末子の年齢については、小学3年生以上が約5割、小学1～3年生未満が3割強、3～5歳が1割台半ばなどとなっています。

また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（18.3%）と回答した人の、希望就労形態は、「フルタイム」が2.6%、「パート・アルバイト等」が84.6%となっています。

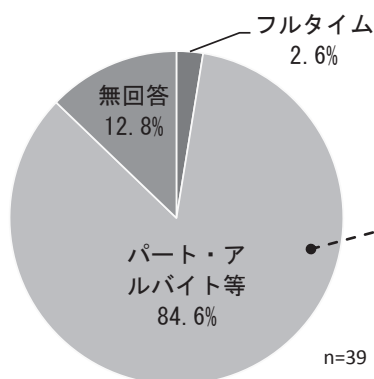
父親の今後の就労意向については、7名中1名の回答があり、「1年より先、一番下の子が（ ）歳になったところに就労したい」となっています。

(1) 母親

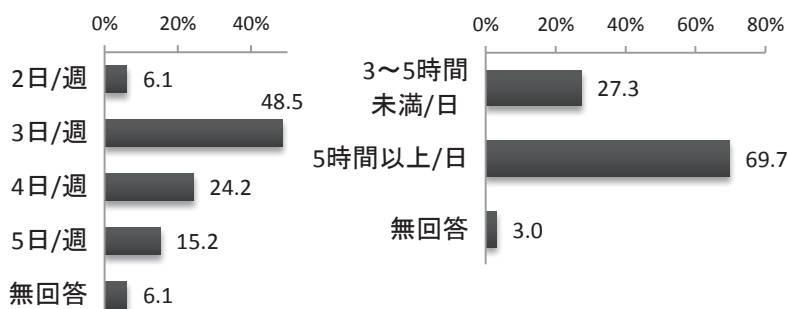
■①就労意向



■②1年以内に就労したいと回答した人の希望する就労形態

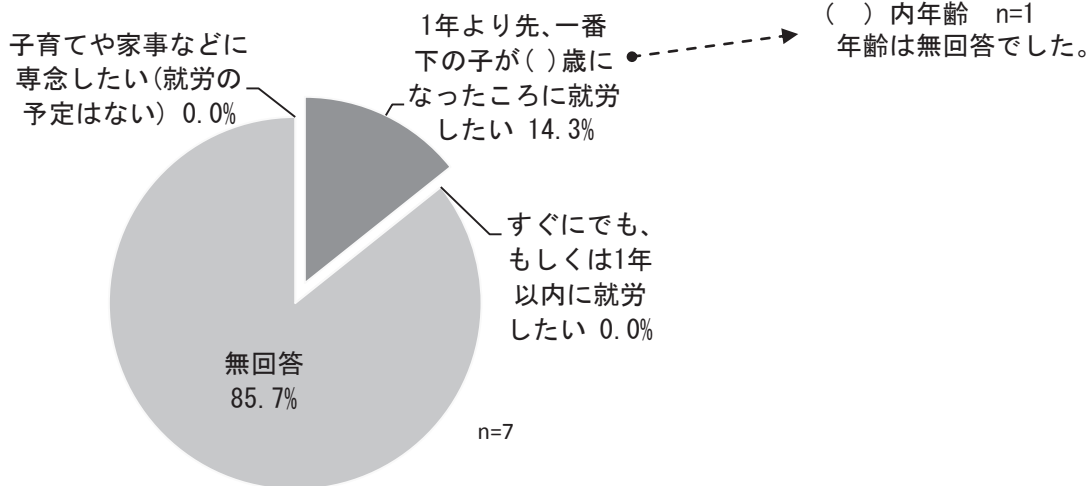


【パート・アルバイト等の希望日数・時間 SA】(n=39)



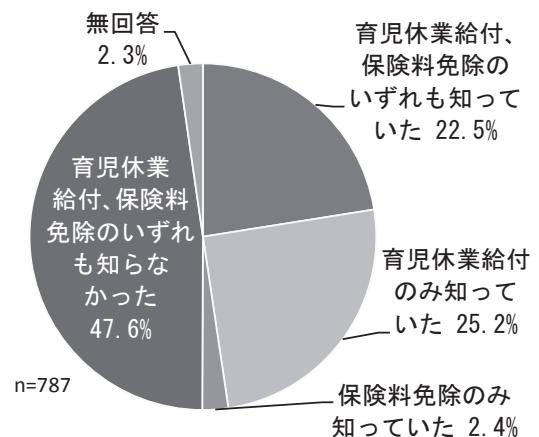
(2) 父親

■①就労意向



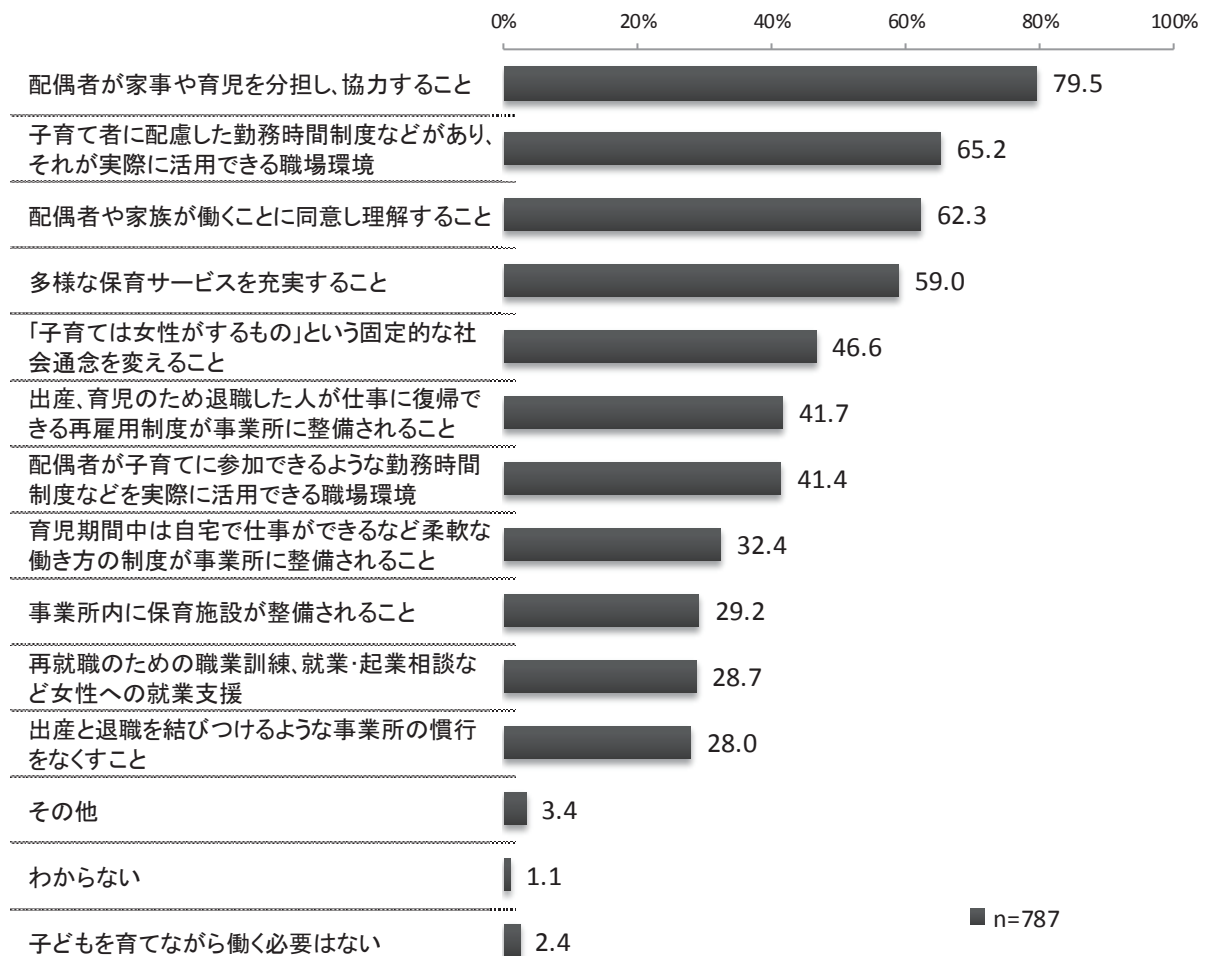
問16 育児休業の取得に際し次のような優遇措置があります。あなたはご存知でしたか(1つに○)。

育児休業取得の際の優遇措置について、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が47.6%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が25.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が22.5%などとなっています。



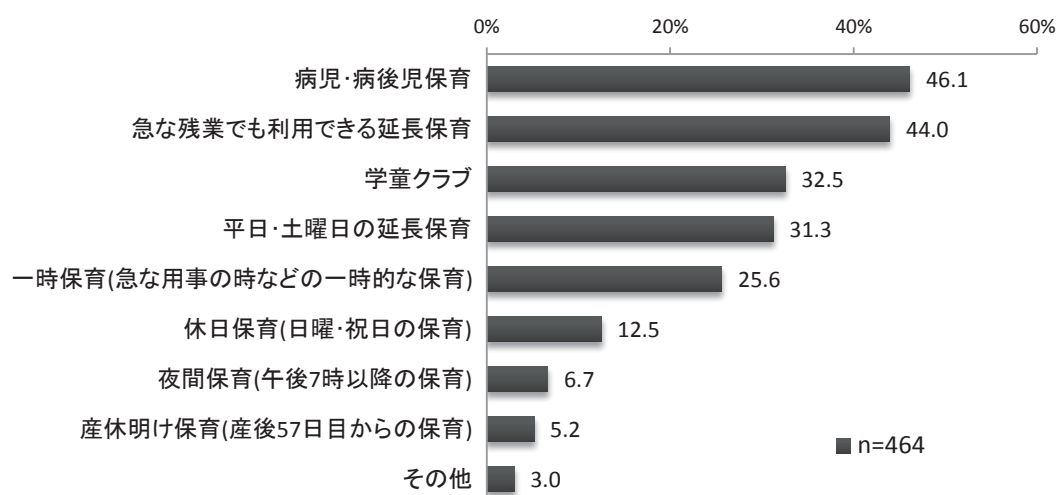
問17 子どもを育てることと働くことを両立するために必要なことは、何だと思いますか
(あてはまるものすべてに○)。

子育てと働くことを両立するために必要なことについては、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」(79.5%) が最も多く、「子育て者に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」(65.2%)、「配偶者や家族が働くことに同意し理解すること」(62.3%)、「多様な保育サービスを充実すること」(59.0%) などと続いています。



「問17で「多様な保育サービスを充実すること」に○をつけた方にうかがいます。」
問18 必要だと思うサービスは何ですか（3つまでに○）。

子育てと働くことを両立するために「多様な保育サービスを充実すること」が必要と回答した人が必要だと思うサービスは、「病児・病後児保育」が46.1%と最も多く、次いで「急な残業でも利用できる延長保育」が44.0%、「学童クラブ」が32.5%などと回答しています。



3 放課後の過ごし方について

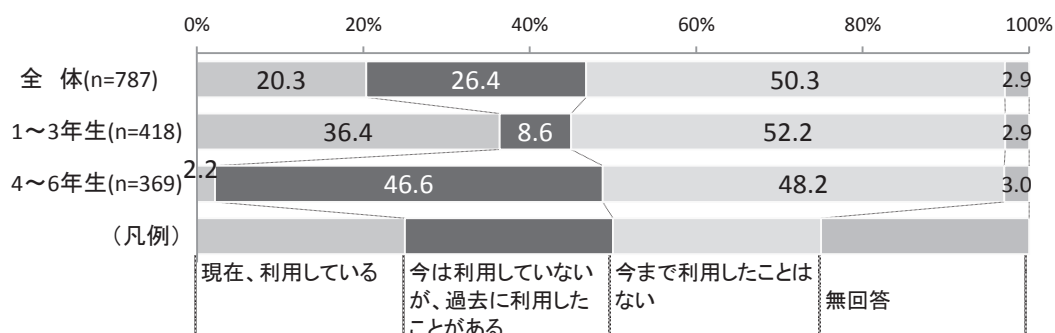
問19 対象のお子さんは、月曜日から金曜日の放課後、どのように過ごすことが多いですか（最も多い過ごし方3つまでに○）。

放課後の過ごし方については、全体では「塾や習い事に行く」が53.0%と最も多く、次いで「友達と公園や広場など外で遊ぶ」が41.9%、「家族と過ごす」が31.3%などとなっています。

	全体	1～3年生	4～6年生
合計 (上段:n、下段:%)	787 100.0	418 100.0	369 100.0
学校にいる(部活動やクラブ活動を含む)	10.5	9.6	11.7
学童クラブに行く	21.6	36.1	5.1
塾や習い事に行く	53.0	46.9	59.9
友達と公園や広場など外で遊ぶ	41.9	35.6	49.1
児童館に行って遊ぶ	13.9	12.0	16.0
図書館、コミュニティ会館など地域の施設に行く	6.7	4.8	8.9
友達の家に行く	15.8	12.9	19.0
自分の家で友達と過ごす	10.2	8.4	12.2
ゲームセンター・ファストフード店等に行く	0.4	0.2	0.5
地域のクラブ活動(スポーツ活動等)をする	3.7	1.4	6.2
子ども会活動・ボランティア活動等をする	0.3	0.2	0.3
家族と過ごす	31.3	33.3	29.0
自分の家でひとりで過ごす	12.3	8.1	17.1
その他	3.4	3.3	3.5
無回答	5.5	4.5	6.5

問20 対象のお子さんは学童クラブを利用したことがありますか（1つに○）。

学童クラブの利用については、全体では「現在、利用している」が20.3%、「今は利用していないが、過去に利用したことがある」が26.4%、「今まで利用したことはない」が50.3%となっています。



《問20で1～2に○をつけた（利用中もしくは過去に利用した）方にうかがいます。
問21 利用している（過去に利用していた）学童クラブは次のどこですか（最も長く利用している（過去に利用していた）もの1つに○）。

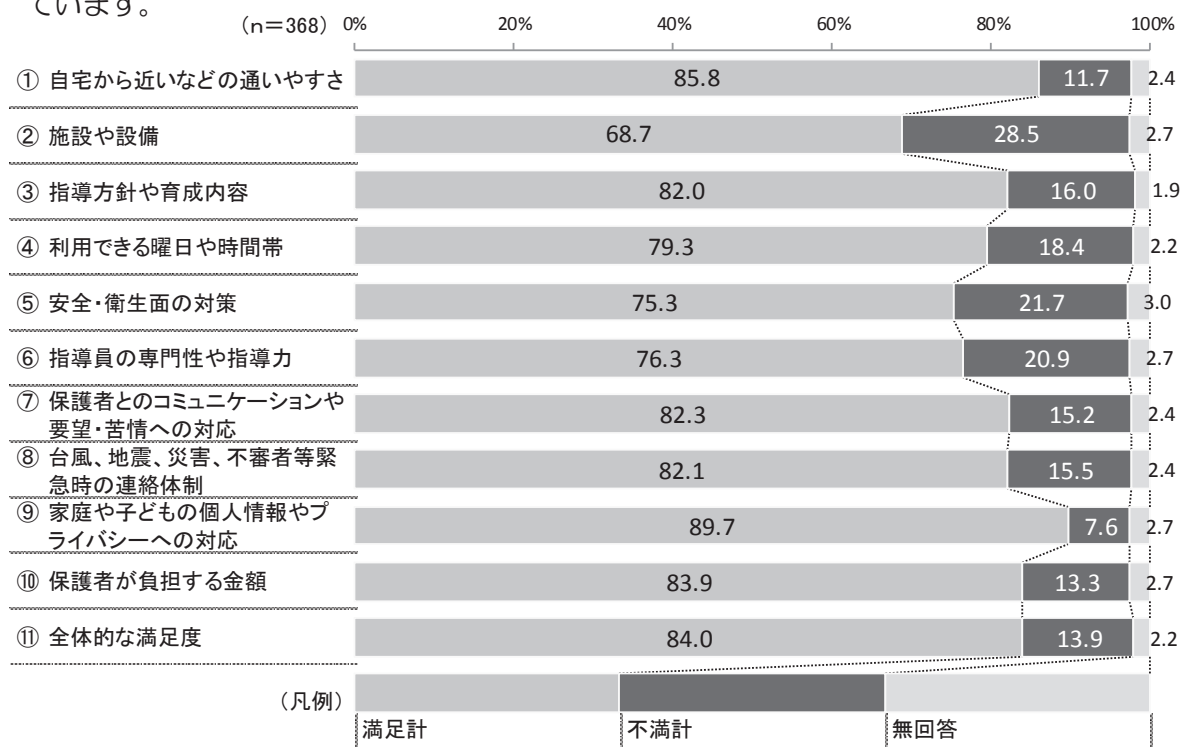
利用している（過去に利用していた）学童クラブは、全体では「墨田区立学童クラブ」が88.0%と最も多く、次いで「私立学童クラブ」が6.0%、「その他」が4.3%となっています。

	全体	墨田、堤 通2丁目、 東向島4 ～5丁目	八広、東 向島6丁 目	東墨田、 立花	東向島1 ～3丁目、 堤通1丁 目、向島	京島、文 花、押上	吾妻橋、 東駒形、 本所、石 原、亀沢、 横網	業平、横 川、太平、 錦糸	両国、千 歳、緑、立 川、菊川、 江東橋
合計 （上段:n、下段:%）	368 100.0	50 100.0	43 100.0	47 100.0	37 100.0	45 100.0	48 100.0	38 100.0	53 100.0
墨田区立学童クラブ	88.0	90.0	97.7	97.9	83.8	71.1	83.3	94.7	88.7
私立学童クラブ	6.0	0.0	0.0	0.0	8.1	26.7	8.3	2.6	1.9
その他	4.3	8.0	2.3	2.1	0.0	2.2	4.2	2.6	9.4
無回答	1.6	2.0	0.0	0.0	8.1	0.0	4.2	0.0	0.0

問22 学童クラブの満足度をお答えください（①～⑪のそれぞれについて1つに○）。

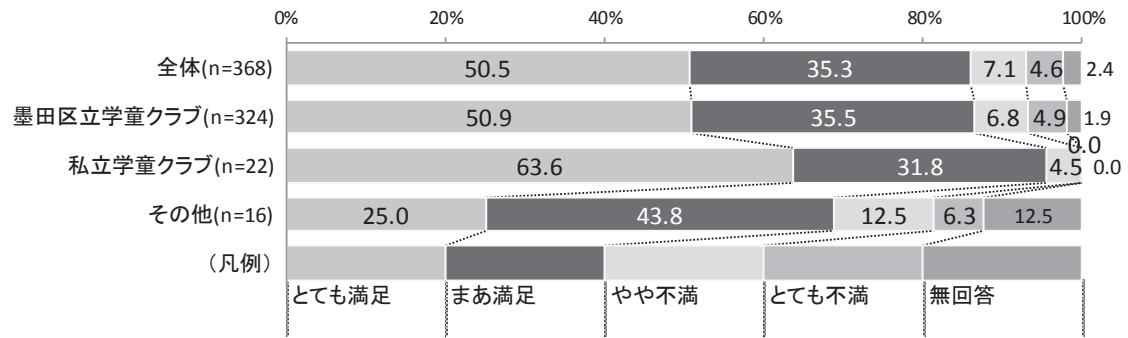
学童クラブの満足度については、満足計（「とても満足」と「まあ満足」の合計）の高い項目は「⑨家庭や子どもの個人情報やプライバシーへの対応」（89.7%）、「①自宅から近いなどの通いやすさ」（85.8%）、「⑩保護者が負担する金額」（83.9%）、「⑪全体的な満足度」（84.0%）などとなっています。

一方、不満計（「やや不満」と「とても不満」の合計）が高い項目は、「②施設や設備」（28.5%）、「⑤安全・衛生面の対策」（21.7%）、「⑥指導員の専門性や指導力」（20.9%）などとなっています。

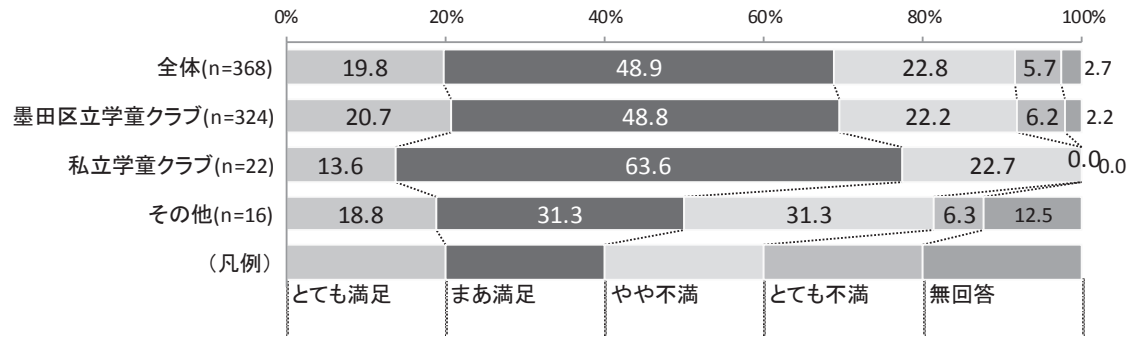


なお、利用している（過去に利用していた）学童クラブごとの満足度は次のとおりです。

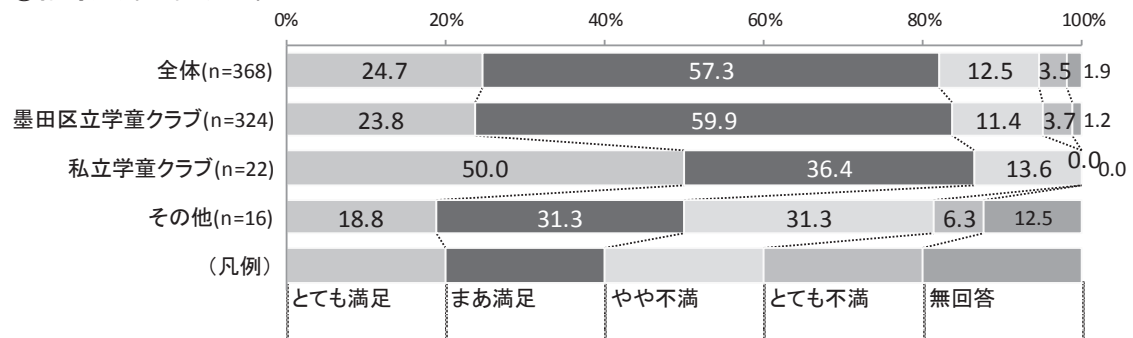
① 自宅から近いなどの通いやすさ



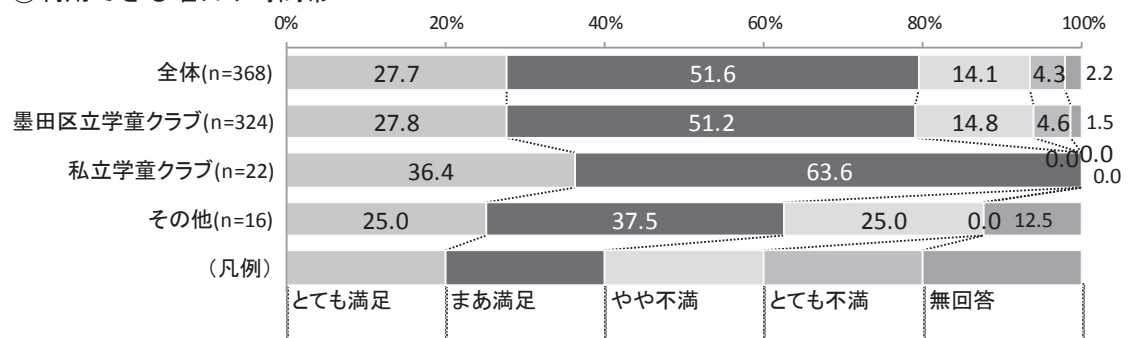
② 施設や設備



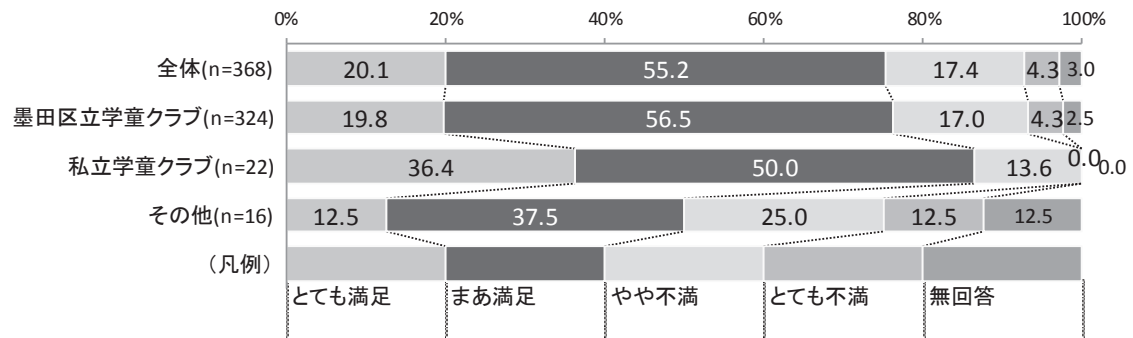
③ 指導方針や育成内容



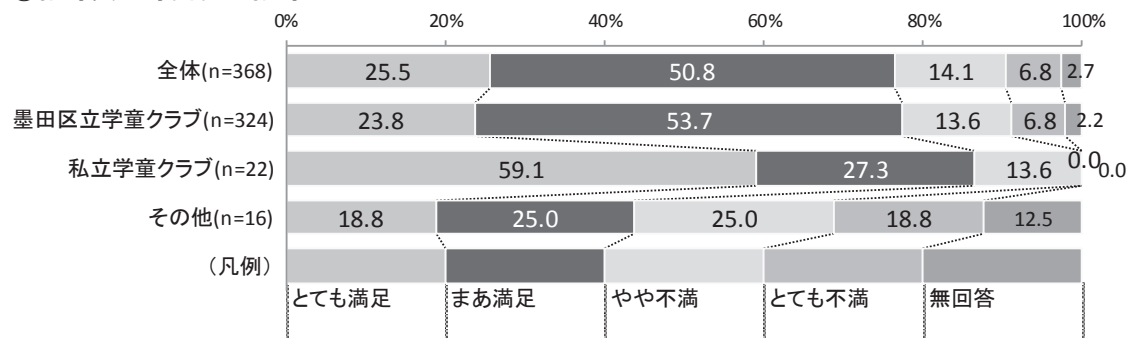
④ 利用できる曜日や時間帯



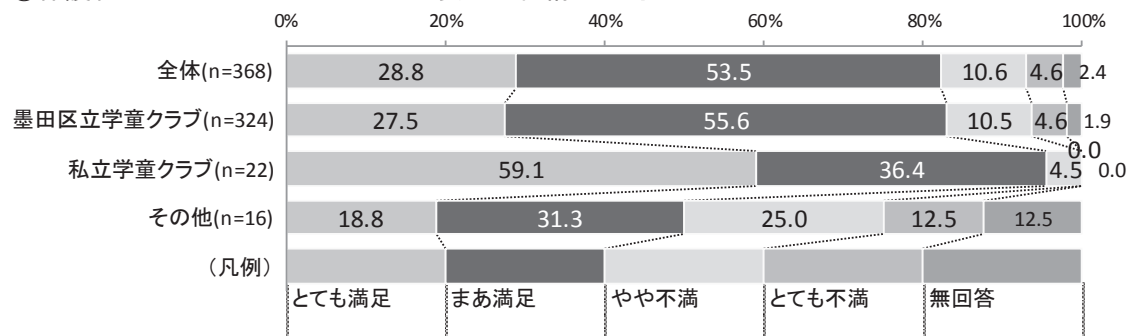
⑤安全・衛生面の対策



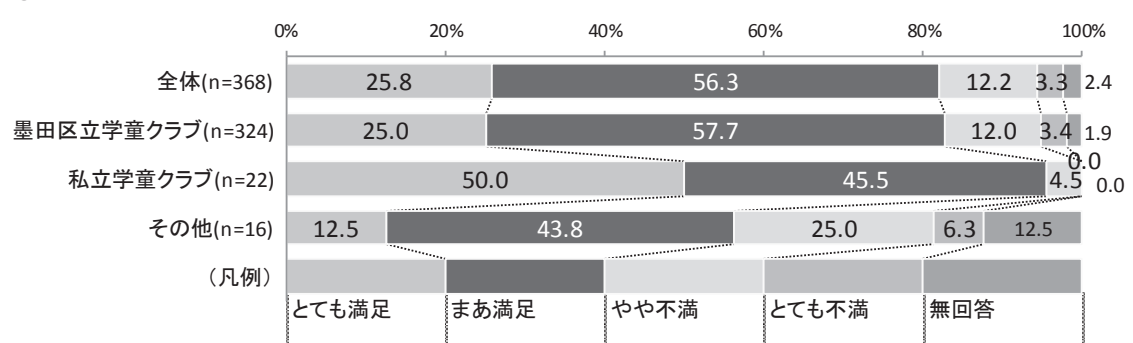
⑥指導員の専門性や指導力



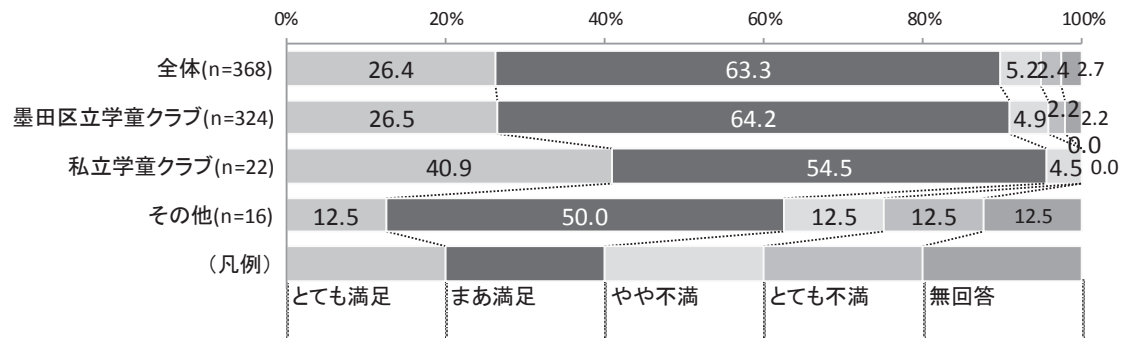
⑦保護者とのコミュニケーションや要望・苦情への対応



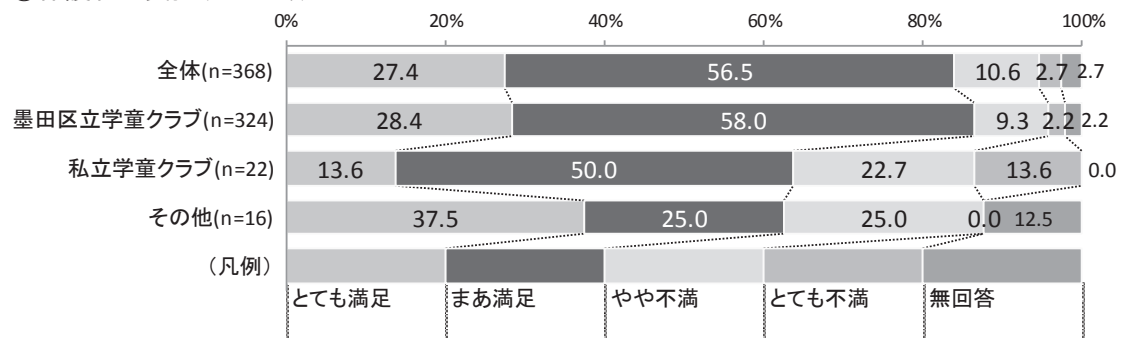
⑧台風、地震、災害、不審者等緊急時の連絡体制



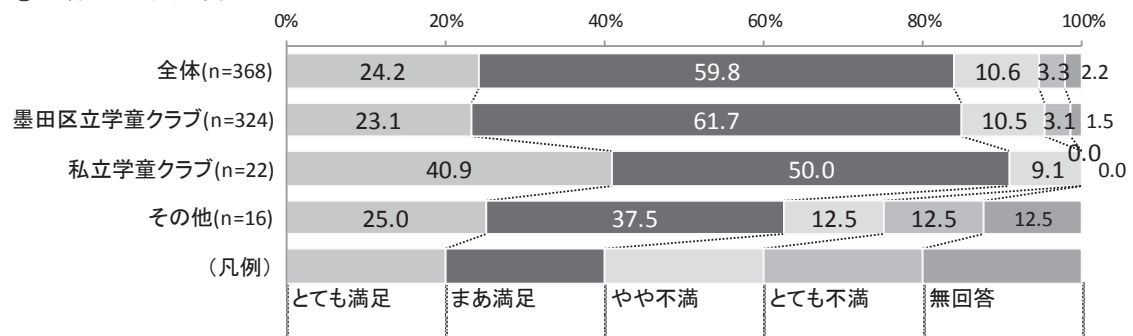
⑨家庭や子どもの個人情報やプライバシーへの対応



⑩保護者が負担する金額



⑪全体的な満足度



問23 通常の学童クラブの①～④の利用について、(1)に利用希望をお答えください(①～④それぞれ1つに○)。利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

学童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と「高学年(4～6年生)になっても利用したい」を合わせると、平日では53.0%となっています。同様に土曜日では21.0%、日曜・祝日では8.4%、夏休みなど長期休暇では57.3%となっています。

(1) 利用希望 (SA)

	①平日	②土曜日	③日曜・祝日	④夏休みなど長期休暇
合計(上段:n, 下段:%)	787 100.0	787 100.0	787 100.0	787 100.0
低学年(1～3年生)の間は利用したい	28.1	11.6	3.6	23.8
高学年(4～6年生)になっても利用したい	24.9	9.4	4.8	33.5
利用希望はない	38.2	69.1	80.7	34.6
無回答	8.8	9.9	10.9	8.1

(2) 利用希望時間帯 (SA)

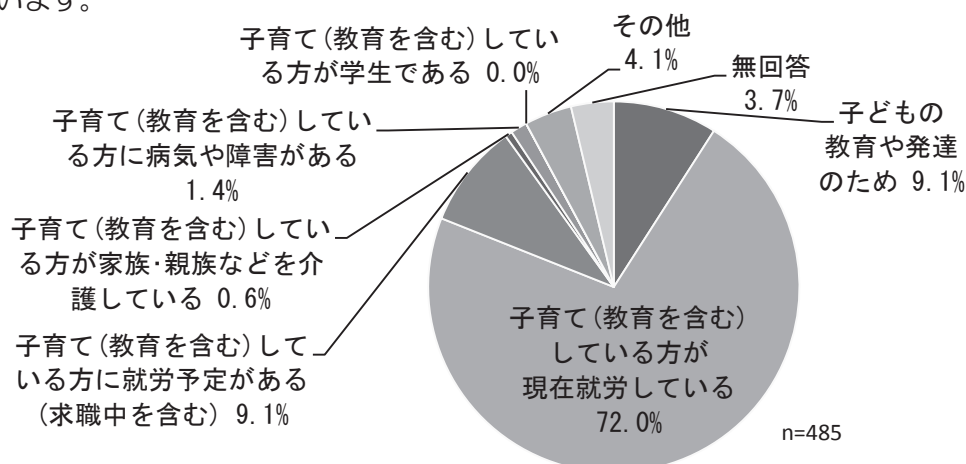
【開始】	①平日		②土曜日		③日曜・祝日		④夏休みなど長期休暇	
	n	%	n	%	n	%	n	%
全体	-	-	165	100.0	66	100.0	451	100.0
8時以前	-	-	8	4.8	3	4.5	19	4.2
8時台	-	-	64	38.8	25	37.9	217	48.1
9時台	-	-	74	44.8	23	34.8	181	40.1
10時台	-	-	3	1.8	4	6.1	8	1.8
11時台	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時以降	-	-	3	1.8	3	4.5	3	0.7
無回答	-	-	13	7.9	8	12.1	23	5.1

【終了】	①平日		②土曜日		③日曜・祝日		④夏休みなど長期休暇	
	n	%	n	%	n	%	n	%
全体	417	100.0	165	100.0	66	100.0	451	100.0
13時以前	0	0.0	4	2.4	1	1.5	0	0.0
13時台	0	0.0	4	2.4	0	0.0	3	0.7
14時台	0	0.0	0	0.0	1	1.5	6	1.3
15時台	1	0.2	8	4.8	2	3.0	14	3.1
16時台	3	0.7	3	1.8	0	0.0	18	4.0
17時台	114	27.3	48	29.1	23	34.8	128	28.4
18時台	173	41.5	59	35.8	21	31.8	162	35.9
19時台	86	20.6	28	17.0	11	16.7	96	21.3
20時以降	25	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	15	3.6	11	6.7	7	10.6	24	5.3

「前問で①～④のいずれかに、「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。」

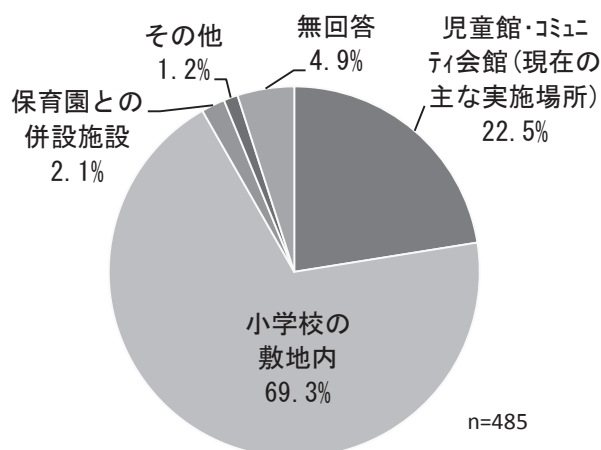
問24 利用する最も大きな理由は何ですか（1つに○）。

学童クラブを利用を希望する最も大きな理由は、「子育て（教育を含む）している方が現在就労している」が72.0%と最も多く7割を占め、次いで「子どもの教育や発達のため」と「子育て（教育を含む）している方に就労予定がある（求職中である）」がともに9.1%などとなっています。



問25 学童クラブは、どのような場所にあるとよいと思いますか（1つに○）。

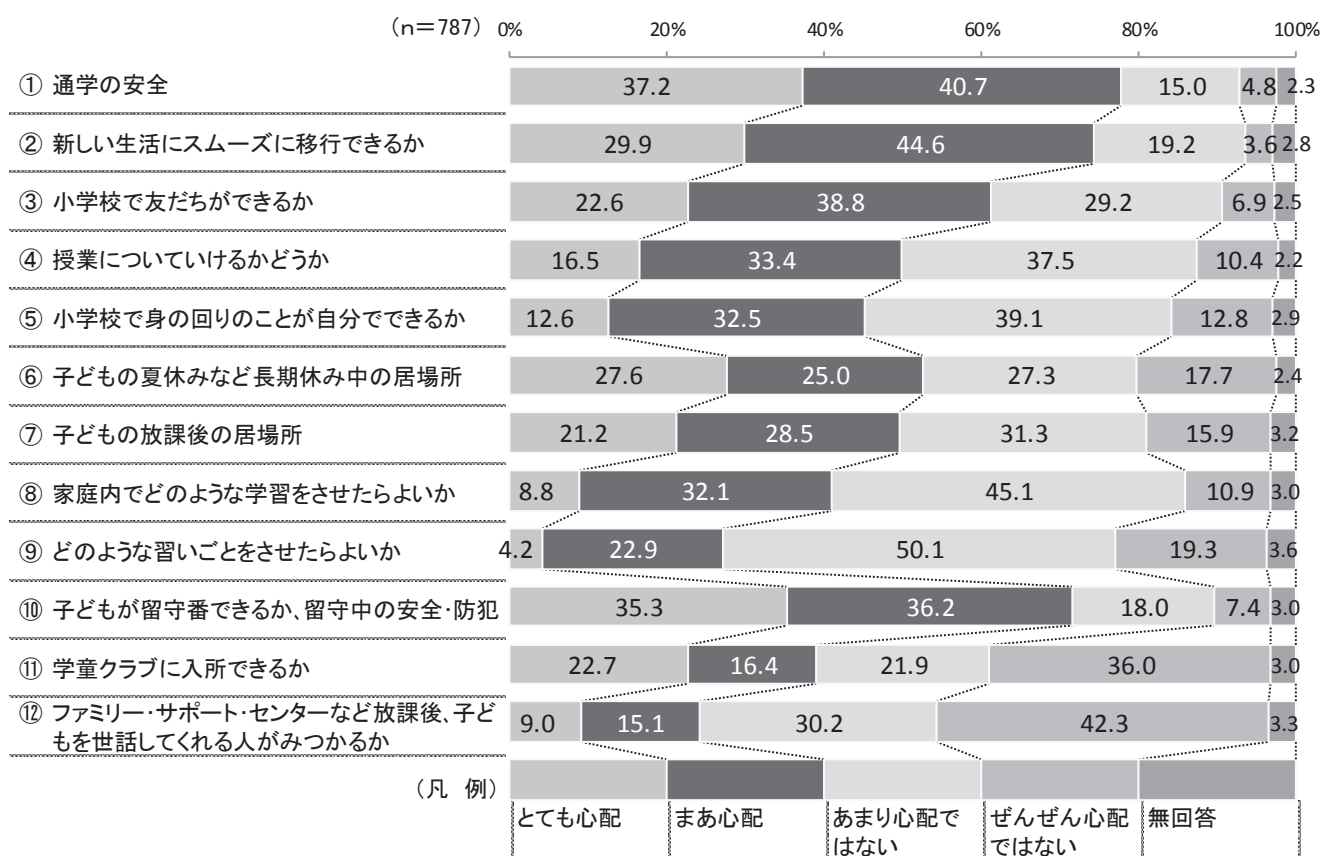
学童クラブの場所については、「小学校の敷地内」が69.3%と最も多く、「児童館・コミュニティ会館（現在の主な実施場所）」が22.5%、「保育園との併設施設」などと続いています。



4 子育ての状況等について

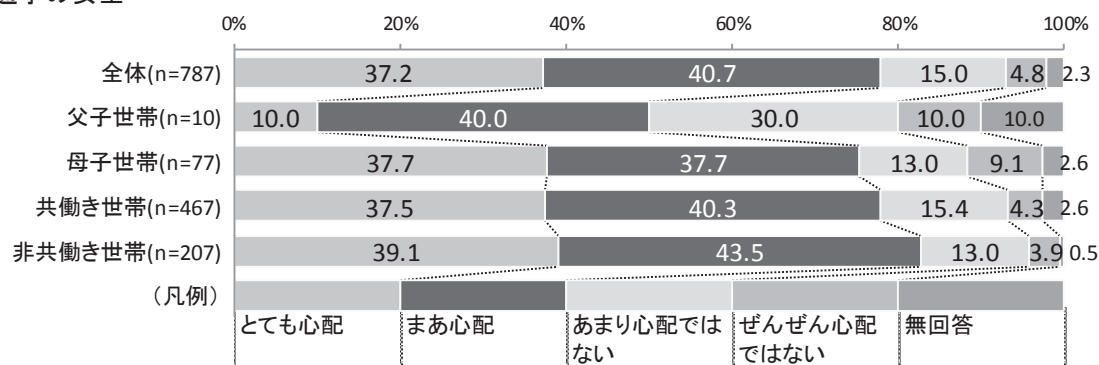
問26 お子さんが小学校に入学した時に心配なことは何でしたか（①～⑫のそれぞれについて、1つに○）。

お子さんが小学校に入学した時に心配なことについて、心配計（「とても心配」と「まあ心配」の合計）が高かった項目は、「①通学の安全」（77.9%）、「②新しい生活にスムーズに移行できるか」（74.5%）、「⑩子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯」（71.5%）などで、いずれも7割を超えています。

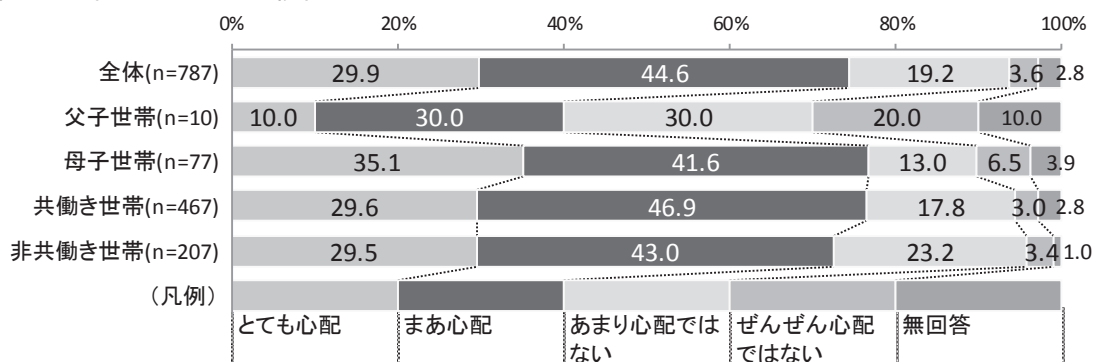


■世帯類型別

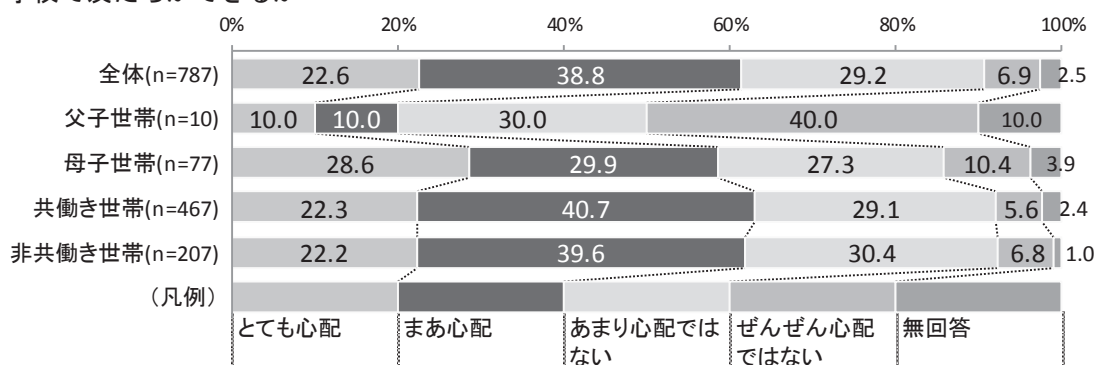
①通学の安全



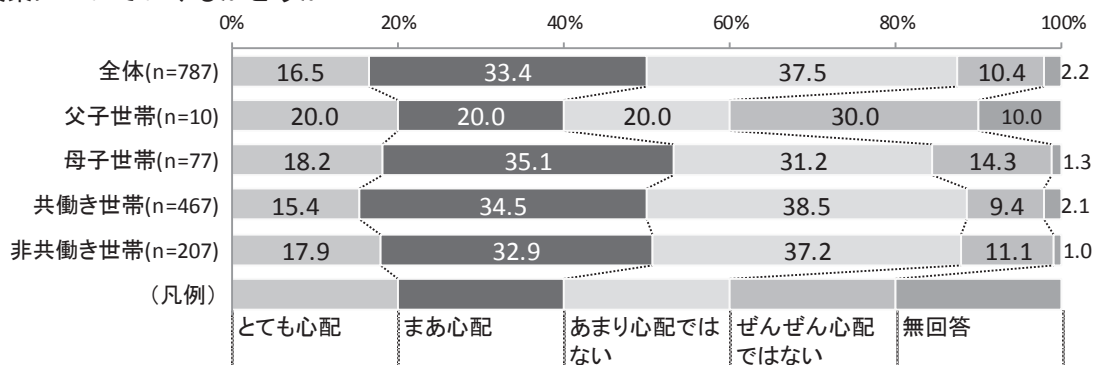
②新しい生活にスムーズに移行できるか



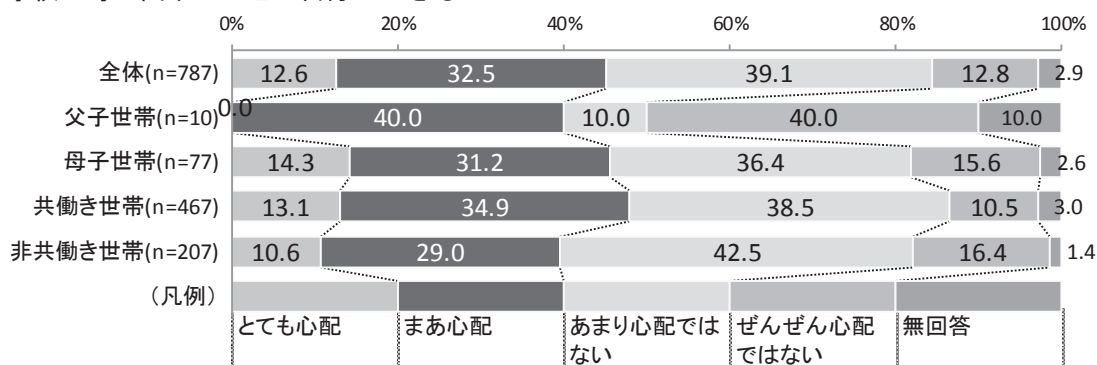
③小学校で友だちができるか



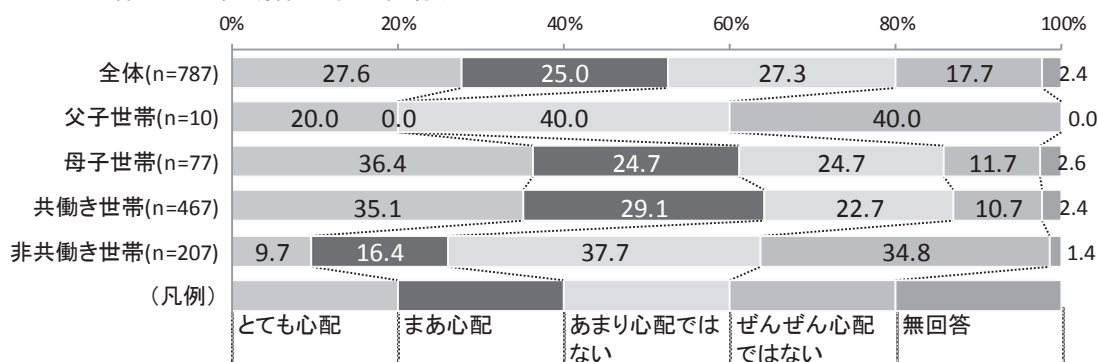
④授業についていけるかどうか



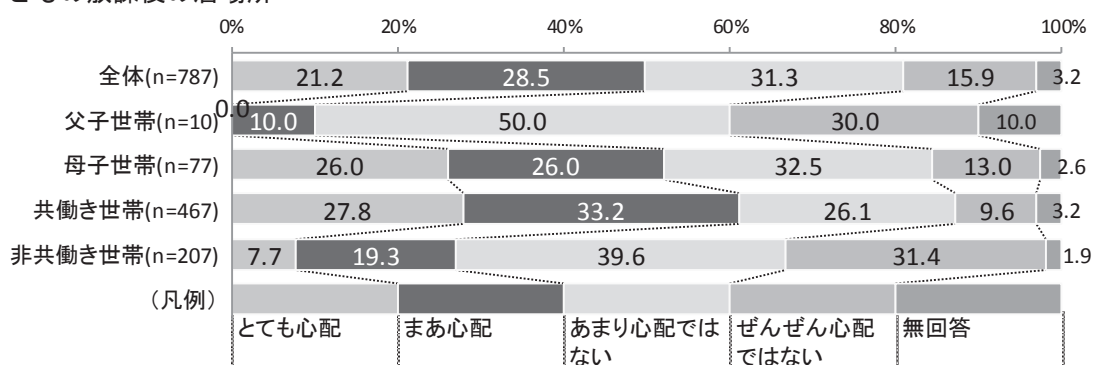
⑤小学校で身の回りのことが自分でできるか



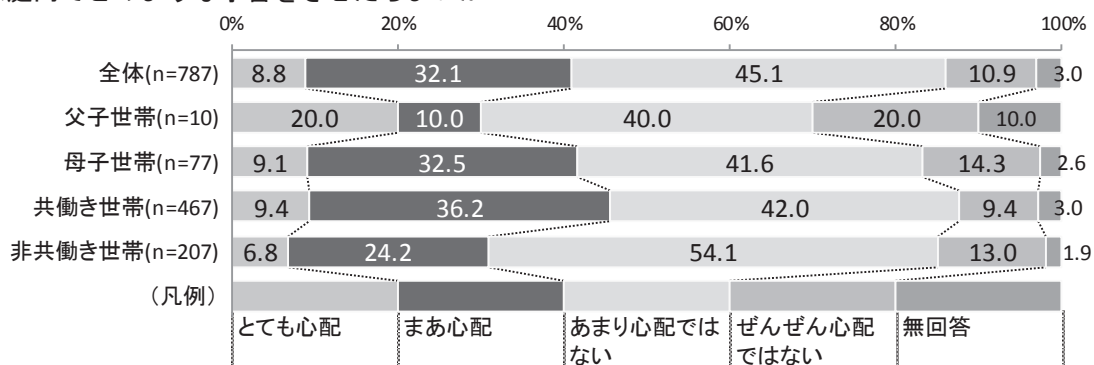
⑥子どもの夏休みなど長期休み中の居場所



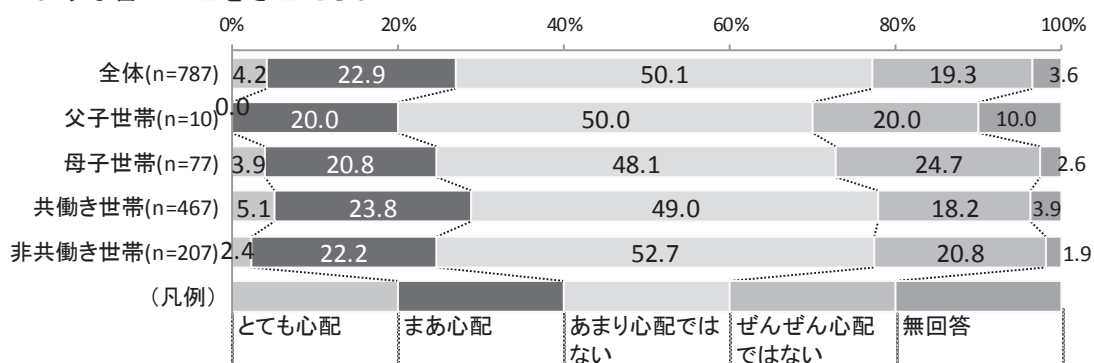
⑦子どもの放課後の居場所



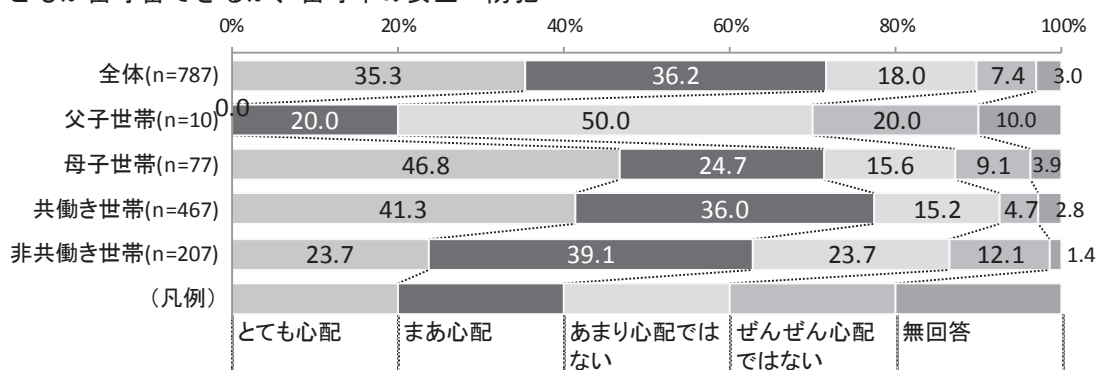
⑧家庭内でどのような学習をさせたらよいか



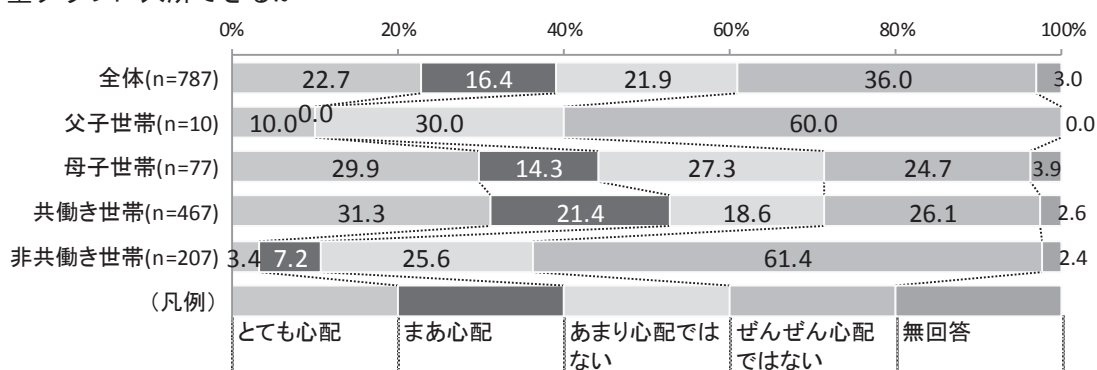
⑨どのような習いごとをさせたらよいか



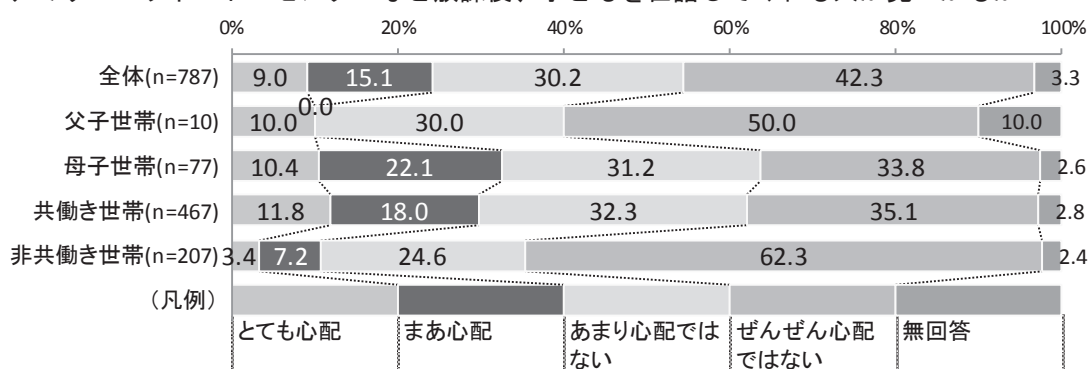
⑩子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯



⑪学童クラブに入所できるか

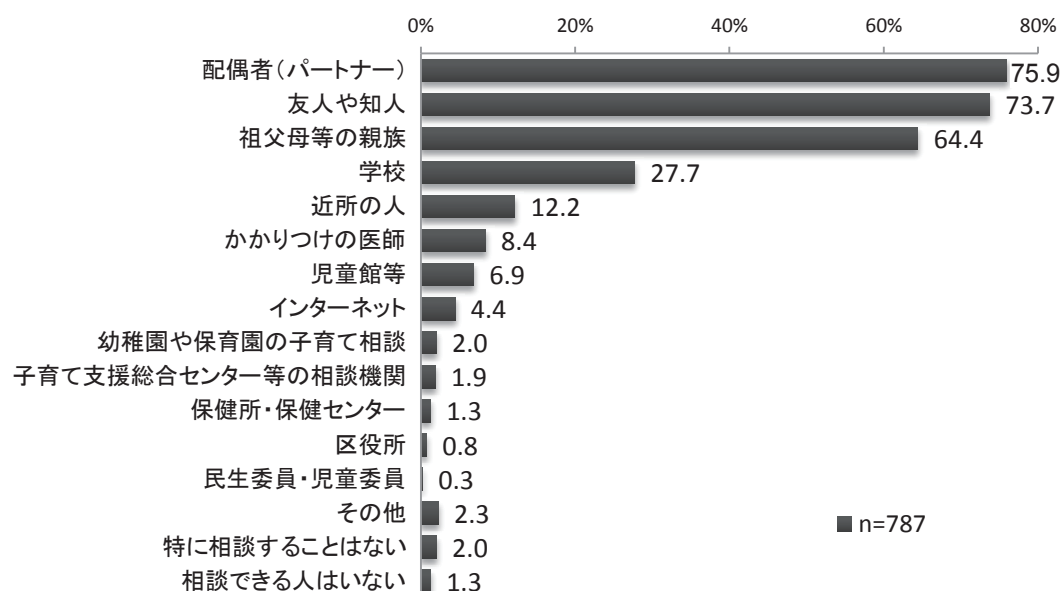


⑫ファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人が見つかるか



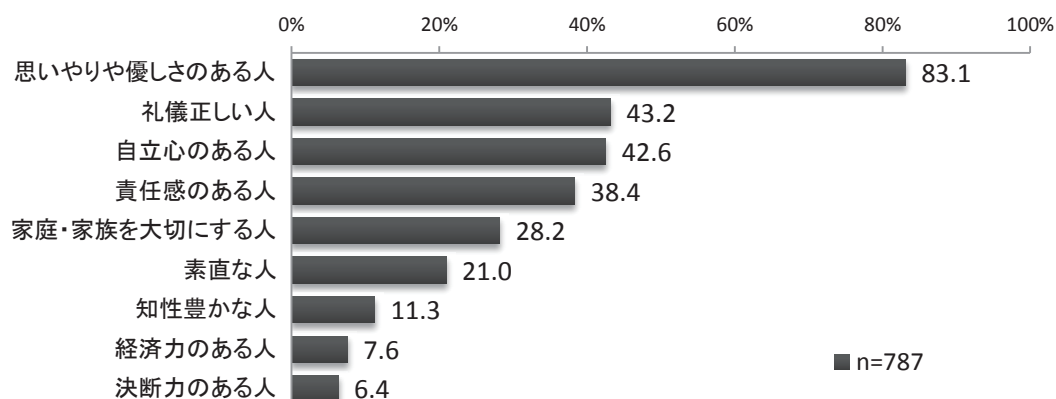
問27 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所等がありますか（あてはまるものすべてに○）。

子育て（教育を含む）をする上での相談先については、「配偶者（パートナー）」が75.9%と最も多く、次いで「友人や知人」が73.7%、「祖父母等の親族」が64.4%などとなっています。



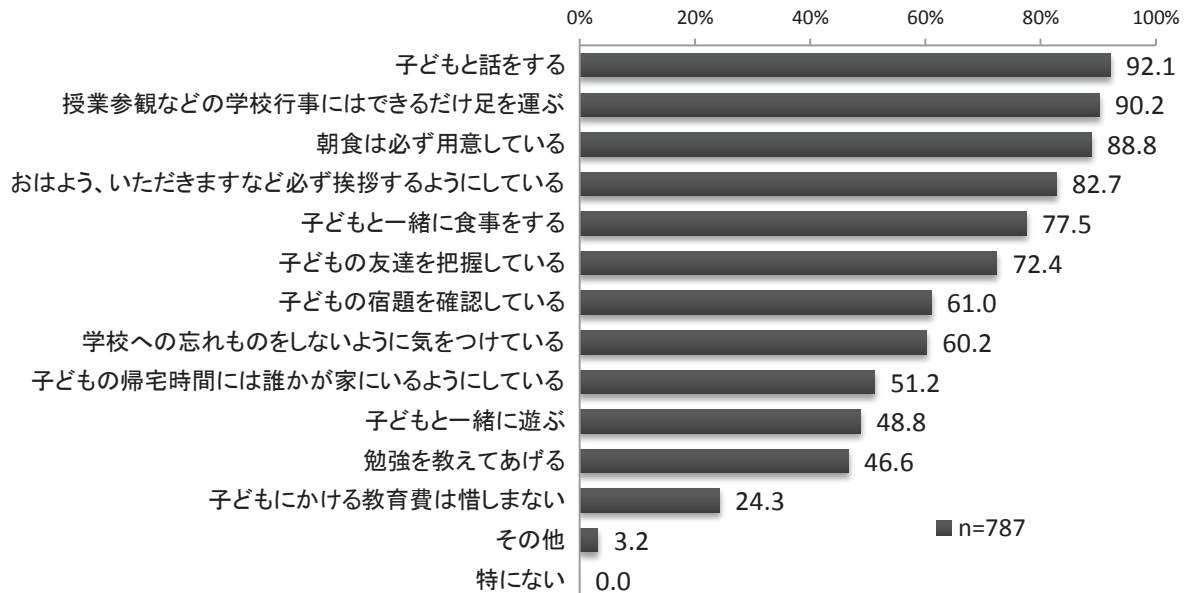
問28 お子さんにどのような人になってほしいですか（3つまでに○）。

お子さんにどのような人になってほしいかについては、「思いやりや優しさのある人」との回答が83.1%と最も多く、「礼儀正しい人」が43.2%、「自立心のある人」が42.6%などとなっています。



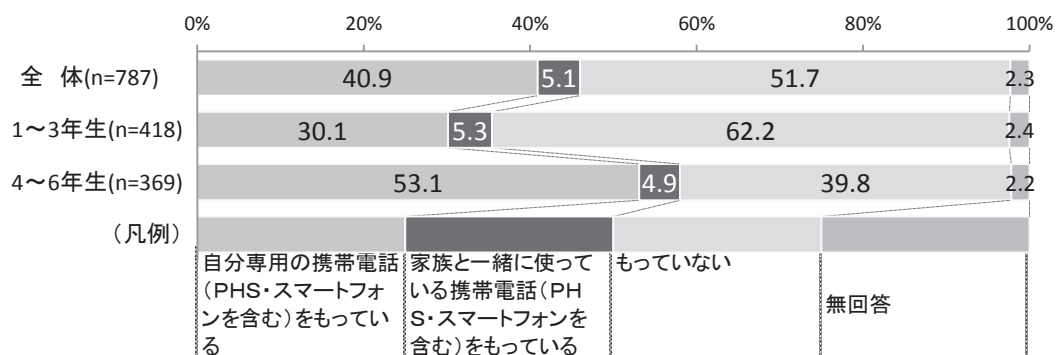
問29 普段、お子さんに対しどのようにかかわっていますか(あてはまるものすべてに○)。

お子さんに対するかかわり方については、「子どもと話をする」が92.1%と最も多く、次いで「授業参観などの学校行事にはできるだけ足を運ぶ」が90.2%、「朝食は必ず用意している」が88.8%などとなっています。



問30 対象のお子さんは携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっていますか（1つに○）。

低学年では30.1%、高学年では53.1%のお子さんは、「自分専用の携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっている」と回答しています。



《問30で1～2に○をつけた方にうかがいます。》

問31 どんな機能を使っていますか（あてはまるものすべてに○）。

使っている携帯電話の機能については、全体では「通話」が97.5%と最も多く、次いで「メール」70.7%、「カメラ」27.6%などとなっています。

	全体	1～3年生	4～6年生
合計	362	148	214
(上段:n、下段:%)	100.0	100.0	100.0
メール	70.7	64.2	75.2
通話	97.5	95.3	99.1
インターネット	6.6	2.0	9.8
ゲーム	9.4	2.7	14.0
カメラ	27.6	11.5	38.8
着うた	1.9	0.0	3.3
ワンセグ	2.5	0.0	4.2
おさいふケータイ	0.0	0.0	0.0
その他	4.7	6.8	3.3
無回答	0.6	1.4	0.0

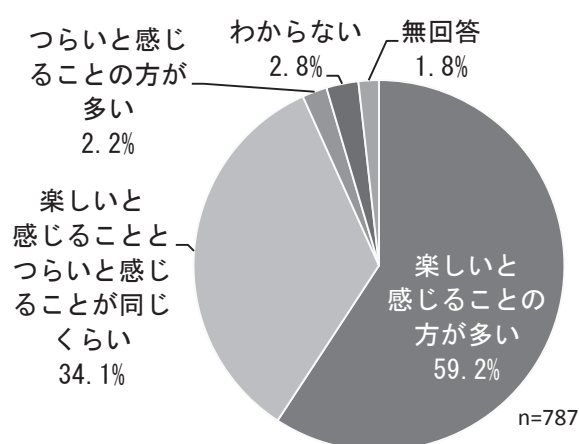
問32 携帯電話に、フィルタリングサービスまたは使いすぎ防止機能はついていますが（1つに○）。

使っている携帯電話に、フィルタリングサービスまたは使いすぎ防止機能が「ついている」との回答は、全体では62.4%、「ついていない」が19.3%、「わからない」が10.8%となっています。

	全体	1～3年生	4～6年生
合計	362	148	214
(上段:n、下段:%)	100.0	100.0	100.0
ついている	62.4	54.7	67.8
ついていない	19.3	23.6	16.4
わからない	10.8	16.2	7.0
無回答	7.5	5.4	8.9

問33 子育てをどのように感じていますか（1つに○）。

子育てについては、「楽しいと感じることの方が多い」との回答が59.2%で最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が34.1%、「つらいと感じることの方が多い」が2.2%などとなっています。

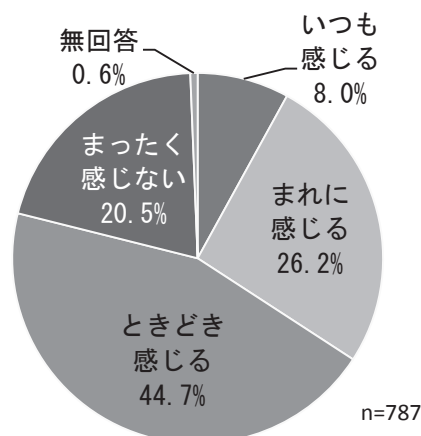


問34 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか
(①と②のそれぞれについて1つに○)。

①子育てに自信が持てないと感じることがある

「ときどき感じる」が44.7%で最も多く、
次いで「まれに感じる」が26.2%、「まったく
感じない」が20.5%などとなっています。

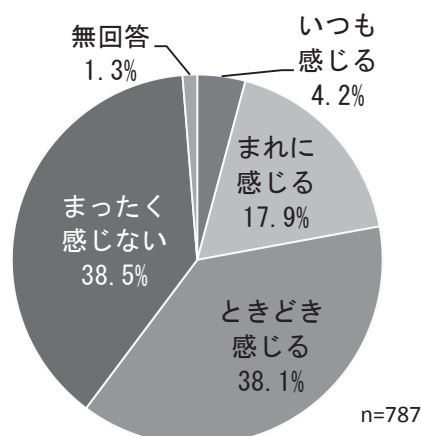
一方で、「いつも感じる」との回答も8.0%
あります。



②子育てに不安や孤独を感じることがある

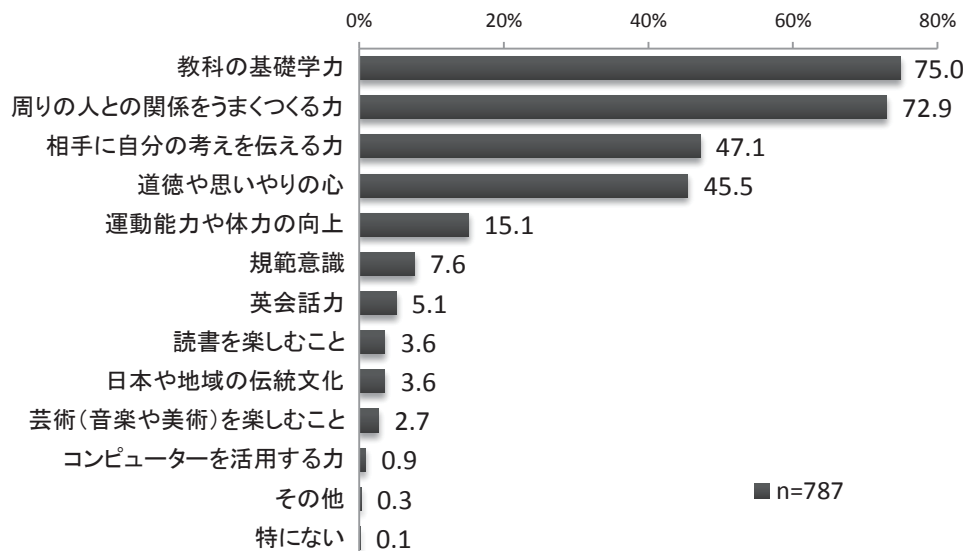
「まったく感じない」が38.5%で最も多
く、次いで「ときどき感じる」が38.1%、
「まれに感じる」が17.9%などとなってい
ます。

一方で、「いつも感じる」との回答も4.2%
あります。



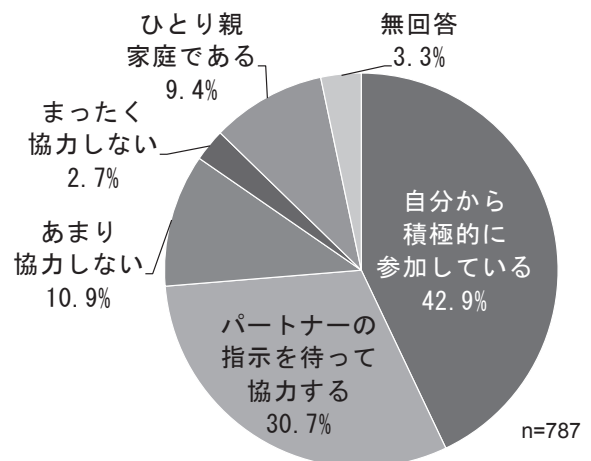
問35 学校教育の場で身につけてほしいことは何ですか（3つまでに○）。

学校教育の場で身につけてほしいことは、「教科の基礎学力」（75.0%）が最も多く、次いで「周りの人との関係をうまくつくる力」（72.9%）、「相手に自分の考えを伝える力」（47.1%）、「道徳や思いやりの心」（45.5%）などと続いています。



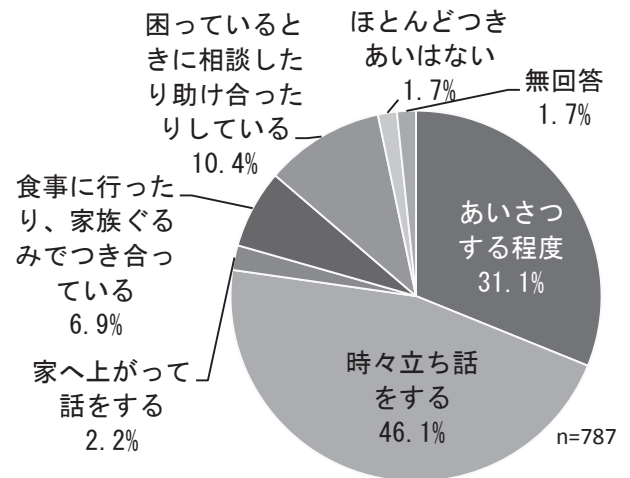
問36 対象のお子さんの父親の子育て参加についてどのように感じていますか（1つに○）。（回答者が対象のお子さんの父親のときはご自身についてお答えください）

父親の子育て参加については、「自分から積極的に参加している」が42.9%と最も多くなっています。



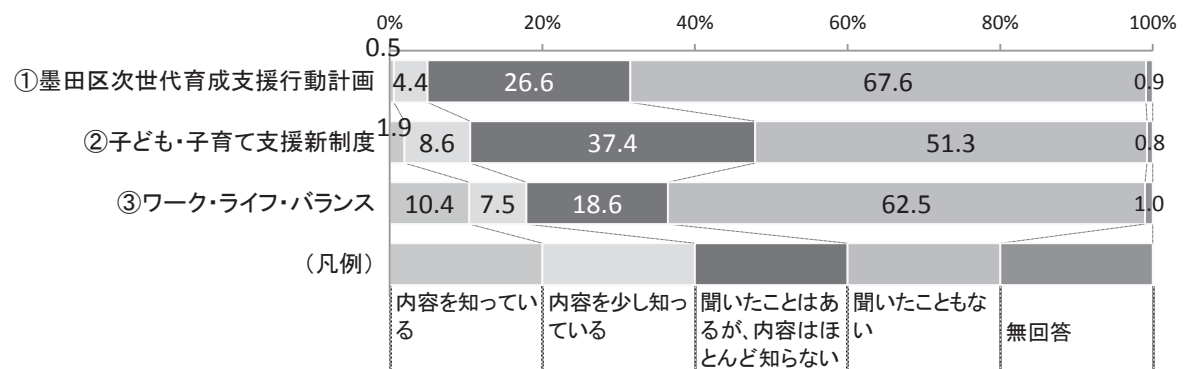
問37 近所や地域の人とのおつきあいはどの程度ですか（1つに○）。

近所や地域の人とのおつきあいについては、「時々立ち話をする」が46.1%と最も多く、次いで「あいさつする程度」が31.1%、「困っているときに相談したり助け合ったりしている」が10.4%などと続いています。



問38 次の用語を知っていますか（①～③のそれぞれについて1つに○）。

「内容を知っている」との回答が最も多かったのは、ワーク・ライフ・バランス（10.4%）で、墨田区次世代育成支援行動計画と子ども・子育て支援新制度は1%前後となっています。



5 墨田区の子育て環境について

問39 墨田区で行っている次のサービス等について、(1)認知状況、(2)利用状況、利用したことがある方は(3)の満足度にお答えください。

墨田区で行っているサービスについて、「知っている」との回答割合が高かったのは、「児童館、コミュニティ会館」、「すみだ安全・安心メール」、「図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習」などで8割から9割台となっています。

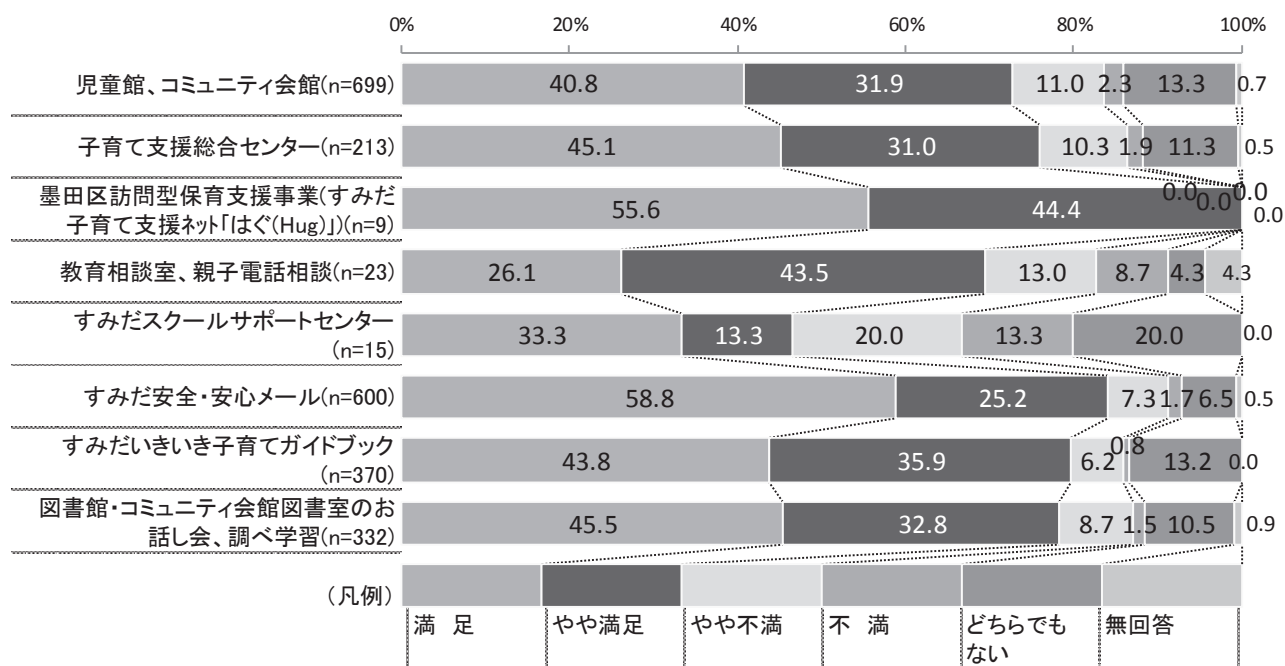
また、「利用したことがある」との回答割合が高かったのは、「児童館、コミュニティ会館」が88.8%、次いで「すみだ安全・安心メール」76.2%、「すみだいきいき子育てガイドブック」47.0%、「図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習」42.2%などとなっています。

■認知状況と利用状況

	【認知度】(MA) 「知っている」と 回答した人		【利用状況】(MA) 「利用したことがある」と 回答した人	
	n	%	n	%
全 体	787	100.0	787	100.0
児童館、コミュニティ会館	767	97.5	699	88.8
子育て支援総合センター	532	67.6	213	27.1
墨田区訪問型保育支援事業(すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」)	205	26.0	9	1.1
教育相談室、親子電話相談	435	55.3	23	2.9
すみだスクールサポートセンター	240	30.5	15	1.9
すみだ安全・安心メール	689	87.5	600	76.2
すみだいきいき子育てガイドブック	596	75.7	370	47.0
図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習	644	81.8	332	42.2
無回答	13	1.7	35	4.4

サービスを利用している人の満足の割合（「満足」＋「やや満足」）は、「墨田区訪問型保育支援事業(すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」)」が100.0%と最も高く、次いで「すみだ安全・安心メール」84.0%、「すみだいきいき子育てガイドブック」79.7%、「図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習」78.3%などとなっています。

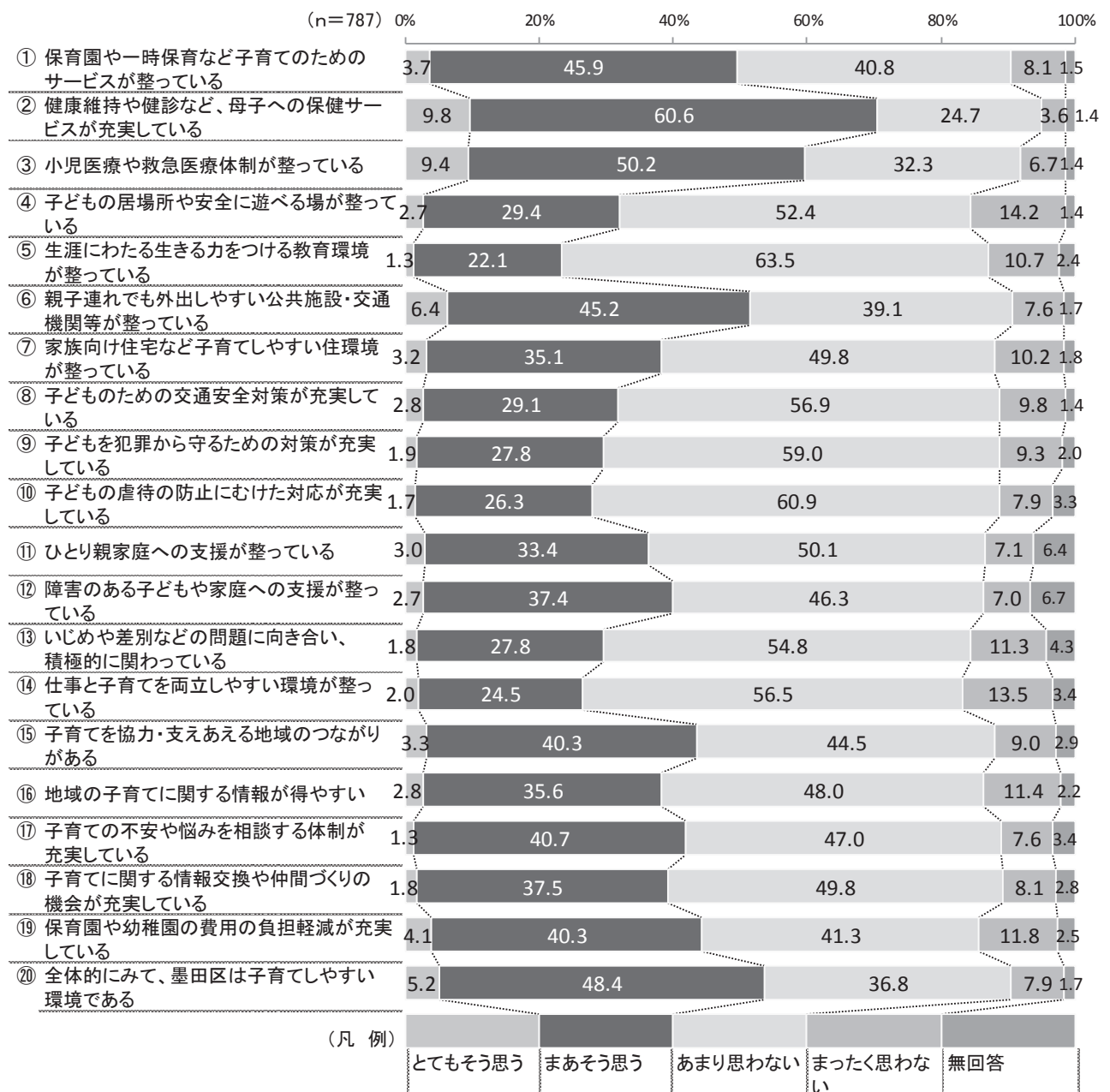
■満足度



問40 小学生のお子さんを育てていく上で、墨田区的环境をどのように感じていますか(①～⑳のそれぞれについて1つに○)。

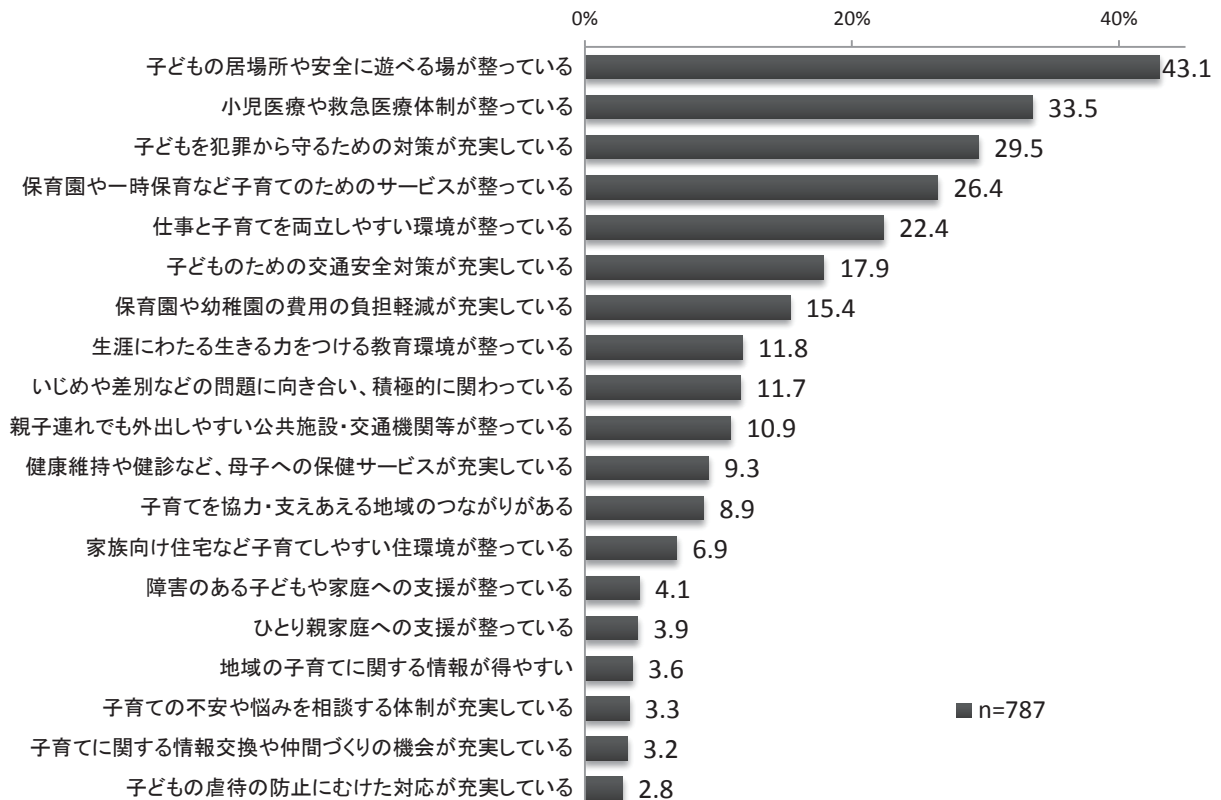
墨田区の小学生の子育て環境について、そう思う割合(「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)が高かったのは、②健康維持や健診など、母子への保健サービスが充実している(70.4%)、③小児医療や救急医療体制が整っている(59.6%)、⑥親子連れでも外出しやすい公共施設・交通機関等が整っている(51.6%)などとなっています。

また、⑳全体的にみて、墨田区は子育てしやすい環境であるでは53.6%と5割を超えています。



問41 問40①～⑱の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を下欄に3つご記入ください。

墨田区がめざす子育て環境として重要だと思うことについては、「子どもの居場所や安全に遊べる場が整っている」が43.1%と最も多く、次いで「小児医療や救急医療体制が整っている」が33.5%、「子どもを犯罪から守るための対策が充実している」が29.5%などと続いています。

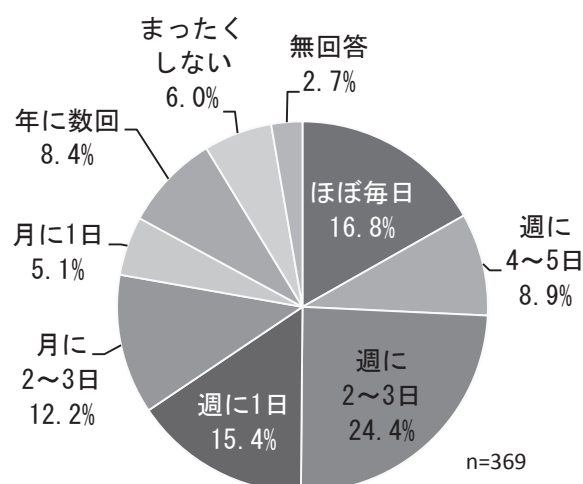


6 小学4年生以上の日常生活状況や考え

《ここからは小学4年生以上の方、ご本人がお答えください。答えにくい質問は答えなくてもいいです。》

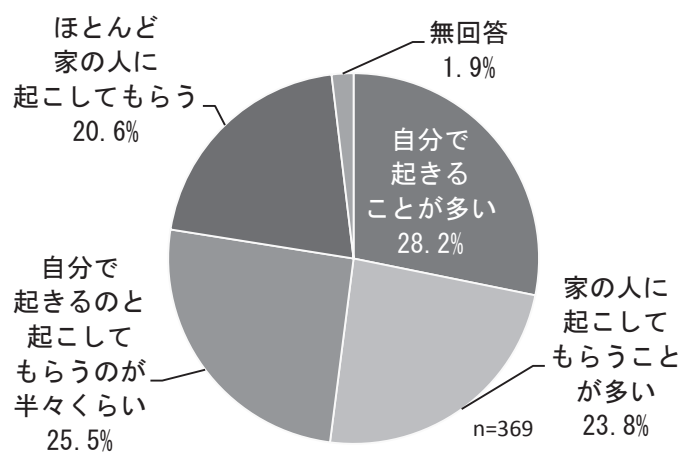
問42 そうじ、洗たく、食事のしたく、買物など家の用事をどのくらい手伝っていますか（1つに○）。

家の用事を手伝う頻度については、「週に2～3日」が24.4%と最も多く、次いで「週に1日」が15.4%、「月に2～3日」が12.2%などとなっています。



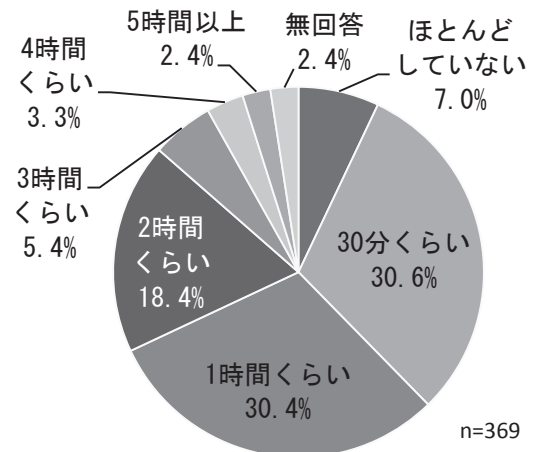
問43 朝は起きられますか（1つに○）。

朝は「自分で起きることが多い」との回答が28.2%と最も多く、次いで「自分で起きるのと起こしてもらうのが半々くらい」が25.5%、「家の人に起こしてもらうことが多い」が23.8%、「ほとんど家の人に起こしてもらう」が20.6%などと続いています。



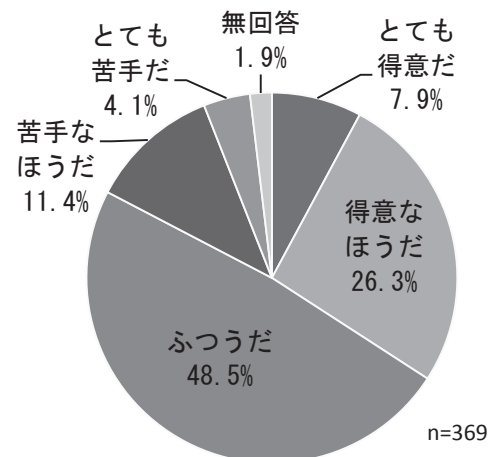
問44 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか（1つに○）。

学校以外でのふだんの1日の勉強時間は、「30分くらい」が30.6%と最も多く、次いで「1時間くらい」が30.4%、「2時間くらい」が18.4%などとなっています。



問45 勉強は得意なほうですか、苦手なほうですか（1つに○）。

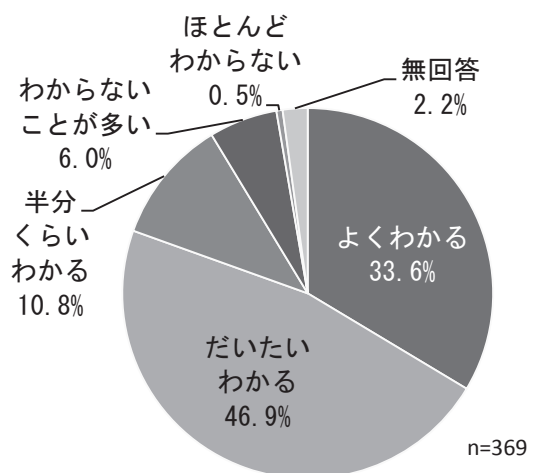
勉強は「ふつうだ」との回答が48.5%と最も多く、次いで「得意なほうだ」が26.3%、「苦手なほうだ」が11.4%などと続いています。



問46 学校の授業はよくわかりますか（1つに○）。

学校の授業は、「だいたいわかる」との回答が46.9%と最も多く、次いで「よくわかる」が33.6%、「半分くらいわかる」が10.8%となっています。

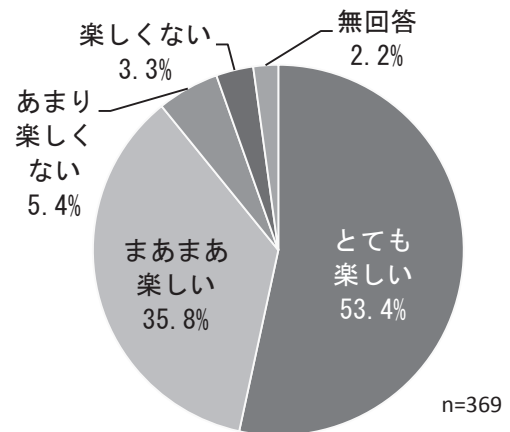
一方で、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」との回答も合わせて6.5%となっています。



問47 学校は楽しいですか（1つに○）。

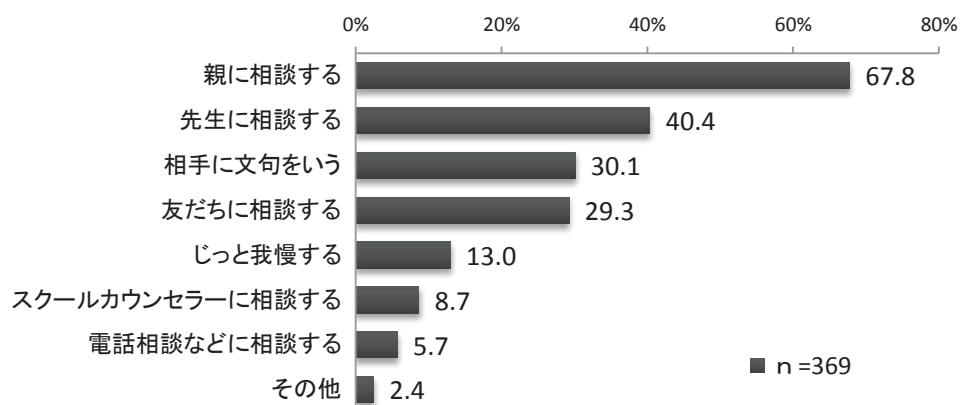
学校は「とても楽しい」との回答が53.4%と最も多く、「まあまあ楽しい」（35.8%）と合わせると9割を占めています。

一方、「あまり楽しくない」と「楽しくない」との回答は合わせると1割弱となっています。



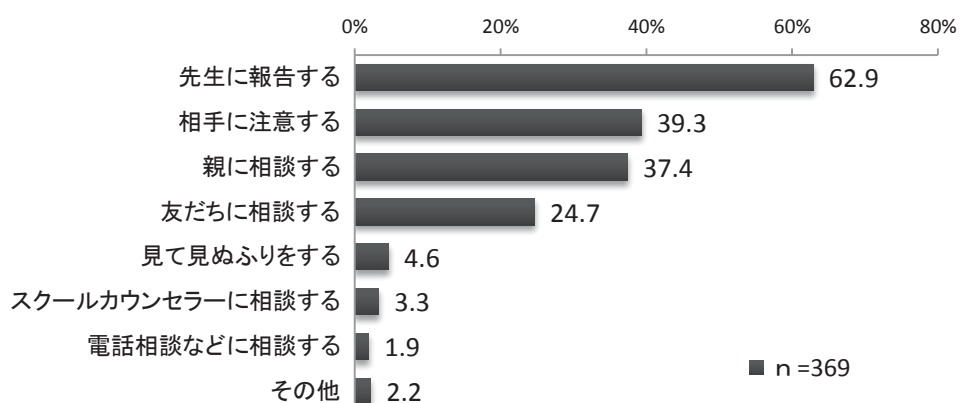
問48 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか（あてはまるものすべてに○）。

自分がいじめを受けた場合の対応法については、「親に相談する」が67.8%と最も多く、次いで「先生に相談する」が40.4%、「相手に文句をいう」が30.1%、「友だちに相談する」が29.3%などとなっています。



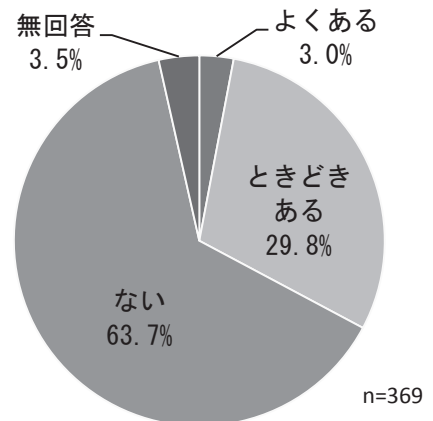
問49 もし、あなたがいじめを目撃したらどうしますか（あてはまるものすべてに○）。

いじめを目撃した場合の対応法については、「先生に報告する」が62.9%、「相手に注意する」が39.3%、「親に相談する」が37.4%などとなっています。



問50 この1年の間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思ったことがありますか（1つに○）。

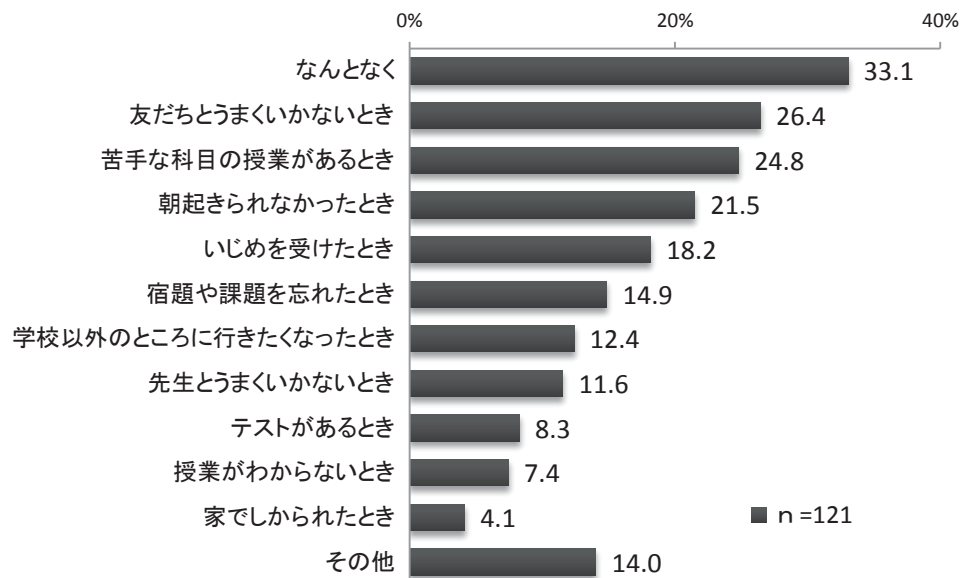
この1年の間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思った経験については、「ない」との回答が63.7%と最も多くなっていますが、「ときどきある」（29.8%）と「よくある」（3.0%）を加えると3割を超えています。



《問50で1～2に○をつけた方にうかがいます。》

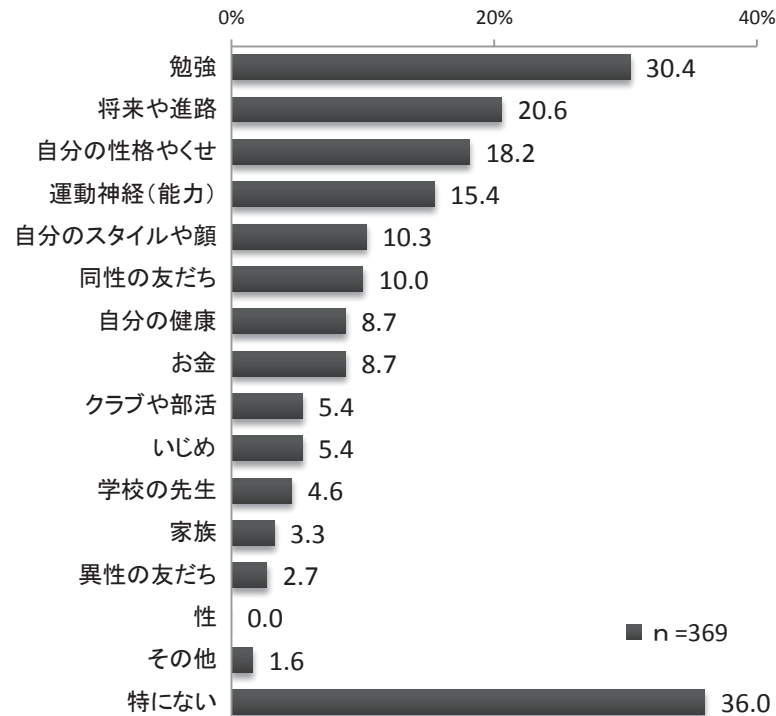
問51 学校に行きたくないと思うのはどのようなときですか（あてはまるものすべてに○）。

学校に行きたくないと思うときについては、「なんとなく」が33.1%と最も多く、次いで「友だちとうまくいかないとき」が26.4%、「苦手な科目の授業があるとき」が24.8%などと続いています。



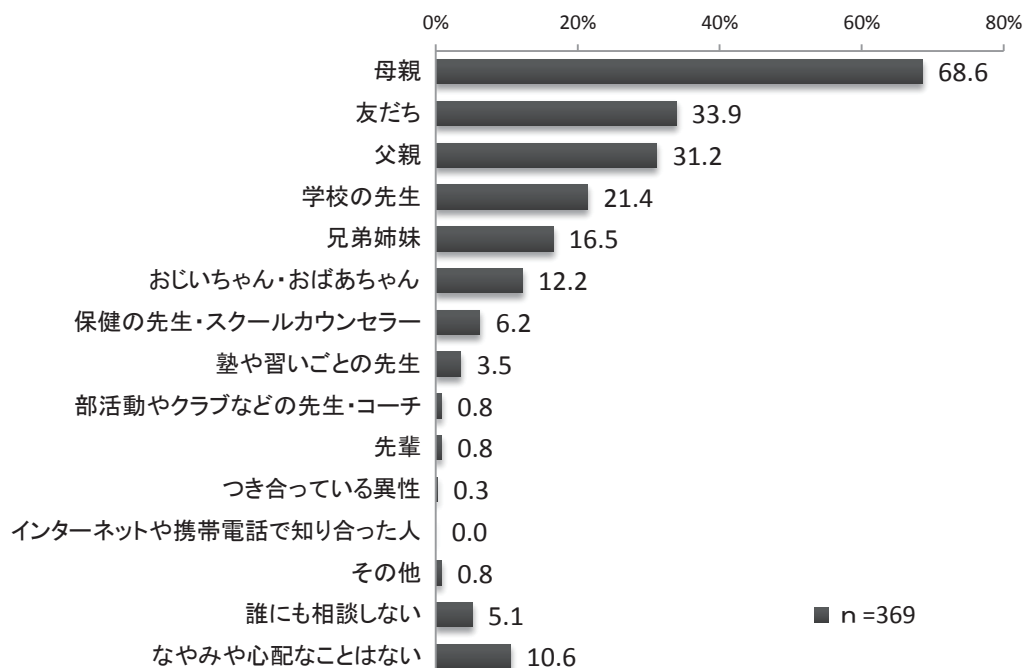
問52 なやみや心配なことがありますか（あてはまるものすべてに○）。

悩みや心配なことについては、「勉強」が30.4%と最も多く、「将来や進路」が20.6%、「自分の性格やくせ」が18.2%、「運動神経（能力）」が15.4%などと続いています。



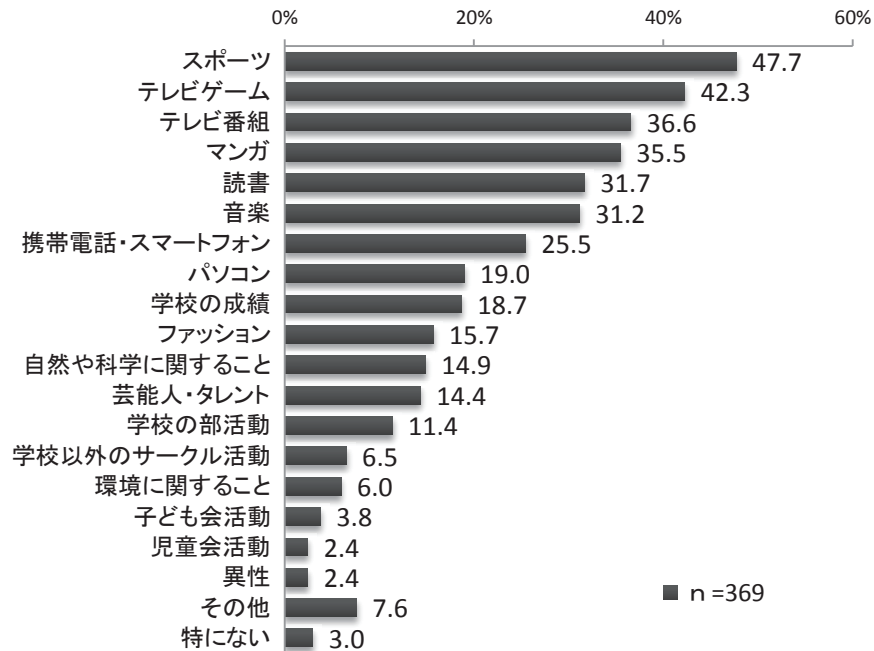
問53 なやみや心配なことはだれに相談しますか（あてはまるものすべてに○）。

なやみや心配ごとの相談相手については、「母親」が68.6%と最も多く7割を占めています。次いで「友だち」が33.9%、「父親」が31.2%などの順となっています。



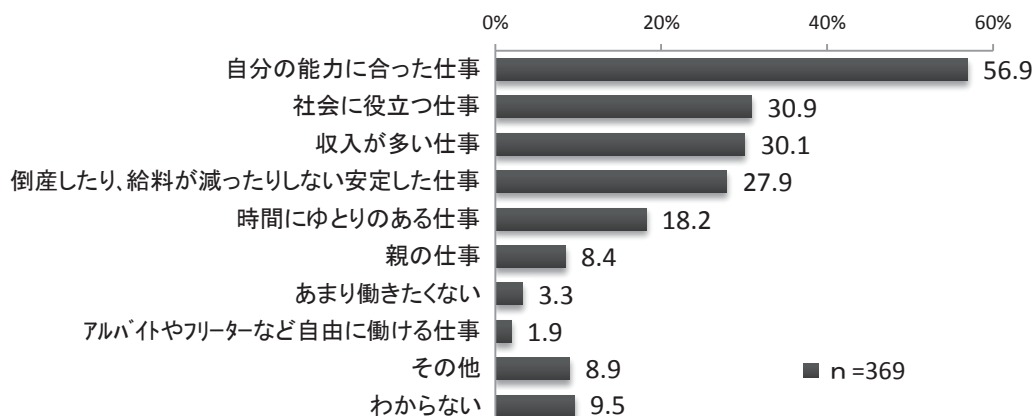
問54 今、どのようなことに関心がありますか（あてはまるものすべてに○）。

今、関心があることについては、「スポーツ」が47.7%と最も多く、次いで「テレビゲーム」が42.3%、「テレビ番組」が36.6%、「マンガ」が35.5%などの順となっています。



問55 将来どんな仕事につきたいですか（あてはまるものすべてに○）。

将来つきたい仕事については、「自分の能力に合った仕事」が56.9%と最も多く過半数を占めています。次いで「社会に役立つ仕事」が30.9%、「収入が多い仕事」が30.1%、「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」が27.9%などの順となっています。



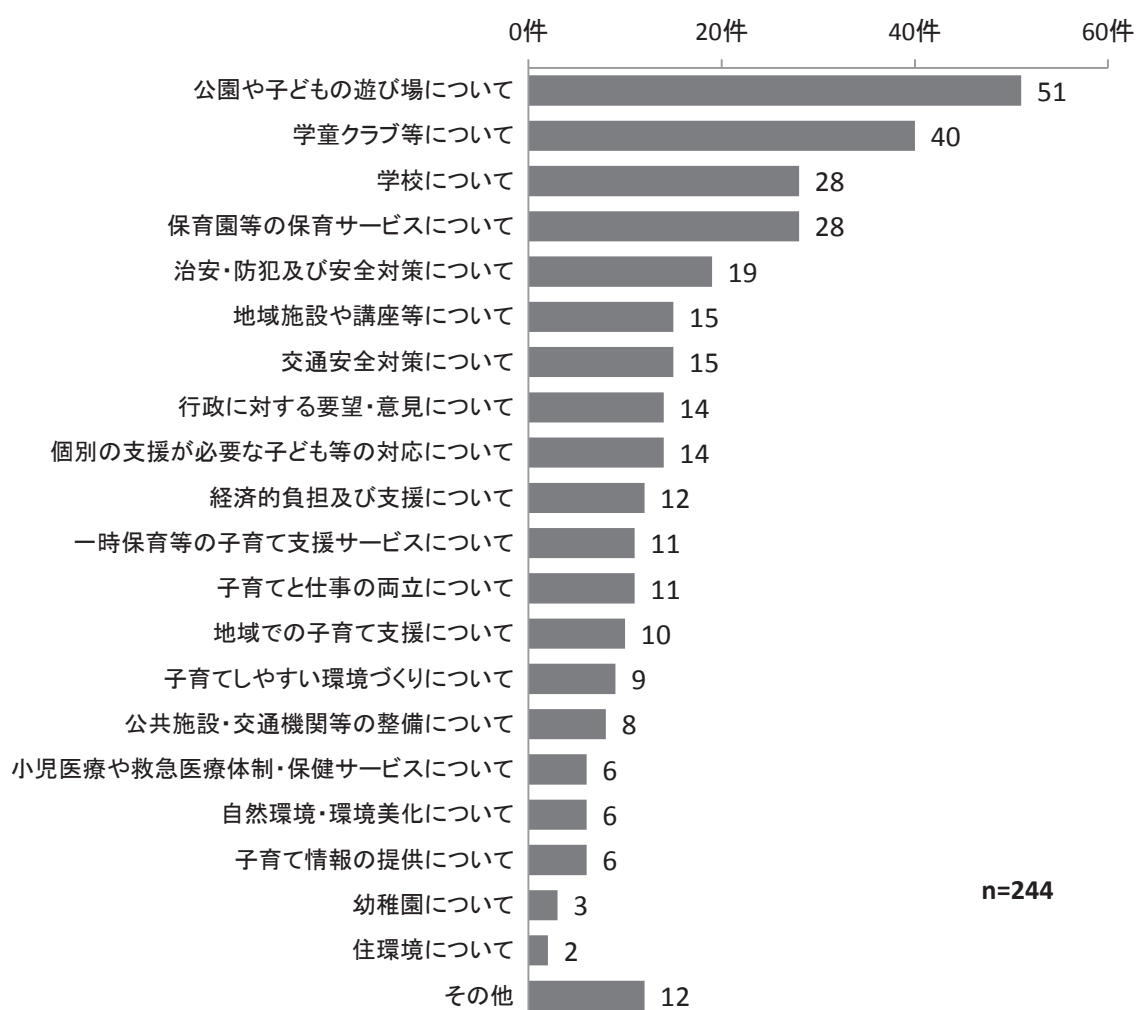
7 自由回答

安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる墨田区となるために、行政や地域、企業などに対してのご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

小学生の保護者が記入した自由回答では、「公園や子どもの遊び場について」が最も多く、次いで「学童クラブ等について」、「学校について」、「保育園等の保育サービスについて」などと続いています。

「公園や子どもの遊び場について」では、ボール遊びやのびのびと遊べる放課後の遊び場確保に対する意見・要望等が多く寄せられています。

また、「学童クラブ等について」では、対象年齢の拡大、母親がフルタイム以外で働いている世帯の夏休み等長期休暇中の保育などに対する意見・要望等が多く寄せられています。



※1人の意見に複数の分野の意見が含まれている場合があるため、回答者数（n）と合計は一致しません。

以下は、小学生の保護者が記入した自由回答の抜粋です。

■公園や子どもの遊び場について（51件）

- 子どもの遊ぶ場所が少ない。公園が汚い。
- 最近ボール遊び禁止の公園ばかりで、子どもがボールで遊べなくなっている。高齢者中心の社会になっていて、子育てが思うようにならず、子どもが発散する場所もない。総合的な遊具を増やして、子どもがどこでも遊べるまちすみだを目指してほしい。
- 放課後の子どもの遊べる広い公園を整備してください。今はボール遊びできる所がありません。荒川河川敷を整備して公園にしたり、学校の校庭を開放することでもよい。子どもが体を動かせる場所を作ってください。
- 安心、安全に遊べる場所が少なすぎる。子どもたちは自転車で江東区まで行っている。墨田区は赤ちゃんに対する支援はすごく目立って頑張っている感じがある。とても大切なことだが、今多くのケアを必要としているのは小中学生。心が満たされないから、学校で落ち着いて授業が受けられないのだと思う。いじめも減らない。

■学童クラブ等について（40件）

- 1年から3年までではなく、高学年まで安心して過ごせるようにしたほうがよい。
- 放課後いきいきスクールは学校休業日も開催してほしい。また、学童のような機能を合わせてほしい。
- 子どもが小学生になると働きたい人はたくさんいるが、夏休み等の長期休暇を考えると、働きに出られない場合も多い。普段は子どもの帰宅時間に合わせて働いているので学童を利用してないが、長期休暇中だけでも利用できると助かる。
- 江東区の小学校の中には放課後子ども教室があり、毎日 17 時、18 時まで学校内で安全に勉強していたり遊んだりできる所がたくさんある。
- 学童クラブは小学校の敷地内またはすぐそばにあるべきだと思う。小学校から学童クラブへの移動は低学年の子どもたちにとっては大変だと思うし危険だと思う。

■学校について（28件）

- 学校での居残り勉強ができない。墨田区の学習時間は全国平均に比べると下回っている。楽しく学習ができるように、工夫が必要だと思う。
- 墨田区の特性を活かした教育にもっと力を入れてほしい。学校で美術館に行ったり、オーケストラを聴いたり、スカイツリーの裏側を見学したり。墨田区に住んでよかった！と思える体験をさせたい。
- 中学校の学区域が変更になるが、同じマンション内でも、私の家は竪川中学、年齢が下の子は両国中学と、つながりが分断されてしまう。学区域変更地域については変更後の両国中学へ優先して入学させてもらえるようお願いしたい。

■保育園等の保育サービスについて（28件）

- 南部に特に0歳、1歳児対象の保育施設をもっと増やすべきだと思う。
- 保育園に入れるとき、1歳児クラスは倍率が高いので、0歳児クラスに入園した。入りやすくしてほしい。
- 公立保育園でも 20 時 or 21 時まで延長保育してほしい。第一子の時は私立で 22 時まで

で延長保育してくれて助かった。現在、第二子、第三子が公立保育園で 19 時までなのでファミリーサポートセンターにお迎えをお願いしないとならないのが不安である。

- ・ 自分も現在保育士という仕事を行っている。近年急激な保育所などの増加（民営、企業などからの協力）に対しての保育士の不足が課題となっていると感じている。施設を増やすだけでなく、質の高い保育や保育士が必要である。

■治安・防犯及び安全対策について（19件）

- ・ 安心安全メールは注意だけで結果が流れてこないなので、安全になったのか、犯人はどうなったのか、全くわからず不安をあおるだけ。
- ・ 街灯が少なく、習い事の帰りが不安。
- ・ 近所で不審者が出る人が多いので、1 人で子どもを外で遊ばせるのが怖い。保護者、町会の人のパトロールや子どもたちへの声かけとかがあったらよいと思う。
- ・ 狭い所に古い家が多く密集していて、一軒が火事になれば延焼してしまいそうな所が多い。そんな中に子どもが遊ぶ公園がポツンとあったりする。古い家屋があるのは風情もあるし、歴史を知る良いきっかけになると思うが、子どもが安全に遊ぶためにも防災対策をしっかりとしてほしい。

■地域施設や講座等について（15件）

- ・ 両国に住んでいるが、児童館、学童クラブが遠すぎる。近ければ児童館を利用したいのに残念である。
- ・ 児童館も直営してほしい。
- ・ 児童館、図書館の建物は基本的に古く、古いだけでなく薄暗く汚い。利用させたくない。
- ・ 他区の施設では子ども向けに無料または低額で体験やワークショップができる所があり、親子共にためになってとても良い。墨田区にはほとんどそのような所がない。ネットや区報を探しても出かけるイベントもない。外で体を動かしたり体験したり工作したりすることは、子どもが健やかに育つためには大事なことで、それを墨田区でもたくさん行っていただきたい。
- ・ 無料で参加できる子育て講演会を数多く開催してほしい。さらに、保育があるとたくさんのママが参加できる。

■交通安全対策について（15件）

- ・ 歩道の整備をしてデコボコをなくしてほしい。お年寄りや自転車、ベビーカーにも危険。
- ・ 歩道の幅が他の区に比べ狭いような気がする。また歩道の角に樹木が植えられていて、信号が見えない。
- ・ 歩道と車道が分かれていないので子どもが事故にあわないか不安。自転車が多く危険。
- ・ 道路が狭いので子どもを 1 人で歩かせるのが心配。色などで歩道を分けたり、ミラーを設置するなど少しでも安全な道路づくりをしてほしい。
- ・ 歩道に植木や自転車が置いてあって、人やベビーカーが安全に通れない所が多い。
- ・ 本所地区は一方通行の道が多い。大通りに面している唯一の双方通行の小さい道はバイクの通り抜けが激しく、子どもがいても猛スピードで通り過ぎていく。住宅地なので速度を落とすためのブロックなどの設置を希望する。

■行政に対する要望・意見について（14件）

- ・今後、中学校の選択制度がなくなると聞いた。いつからかなど詳しいことを知る機会がなく、不安に感じている。もし学区の学校へ行きたくない場合は私学になるが、経済的に厳しいのでできたら希望の区立に入れたいと考えている。選択制度などの制度が変わる場合は5年以上前から区民にしっかり知らせてほしいと思う。（なぜ、今なのか理由も）
- ・第二子出産が東日本大震災の直後だった。物資の不足が産後の精神的、肉体的疲労にかなりひびいた。水の支給があったが、なかなか受け取りに行くのも困難だった。行政がオムツやミルクを確保して優先的に販売してくれたり、保健師さんの指導等があると安心だった。
- ・普段の生活の中であまり区の役割や何をしているのかなど見えてこない。働きかけが足りないのでは？
- ・大企業勤務ではないので、働きながら利用できる制度が「保育園」しかわからず、職場の人数が少ないので教えてくれる人もいない。区に問い合わせると、出張所ではできないことも多く、窓口も全部違うし対応も違う、これが一番困った。手続き関係を出張所でまとめてできるようにしてほしい。提出先が違うため同じ書類を何回も書くのが大変だった。

■個別の支援が必要な子ども等の対応について（14件）

- ・ひとり親、特に父子家庭への支援がまったくなく、本当に大変である。
- ・療育施設を直営化してほしい。
- ・発達や健康に不安がある子どもでも、安心して近所の公立の小中学校に通うことができるような区になってほしい。（例えばどの学校にも学習のフォローしてくださる先生がいるとか、教室に入れない子どもでも居場所があるとか）
- ・愛の手帳を取得できない発達障害児が、就労までの充実した教育システムを受けられるようにしてほしい。就労を目的とした（社会性、コミュニケーション能力等）療育を受けられる所がほしい。小3で療育がなくなるのは困る。せめて中3まで受けられるといい。

■経済的負担及び支援について（12件）

- ・子どもが4人いるため幼稚園の費用がとても大変。負担軽減を強く望む。
- ・インフルエンザの注射は無料にしてほしい。
- ・子育てに必要な学費、医療費などの控除を望む。
- ・高2、中2、小6と3人いる。子どもが小さい時はあまりお金がかからないので、共働きしなくてもよいと思う。中学、高校となるとお金がかかるので、高校生も医療費無料とか、もっと支援していただきたい！
- ・子どもに対する手当てなどは、年収でなく子どもの数で決めるべきだと思う。

■一時保育等の子育て支援サービスについて（11件）

- ・幼稚園や小学校の時間だけ働きたい母親は多いと思う。保育園や学童保育以外の子どもでも、母親が就労しており、長期休みの保育施設がないためとても困っている。一番のネックは長期休みの時で、幼稚園のママは困っている。パートで働く母親でも利用できるような保育施設をぜひとも整備してもらいたい。
- ・現在パート勤務しているが、帰宅が15:30頃で学童保育に入れる程でもない。但し低学年なので帰宅時間が早いので小学校での延長時間（校庭開放など）があると安心。また、短

縮授業、午前授業、振り替え休日等の際に一時的に学童で受け入れてくれると助かる。（例えば学童保育での一日預かりなど）

■子育てと仕事の両立について（11件）

- ・企業へは子どもが小学校2年生くらいまで、時短や休業などの理解を求める。
- ・いくつかの会社が合同で保育所を設けるなどの工夫が必要。
- ・企業には、子どもを延長保育で遅くまで預けなくてもよいように、父母共に残業がないような働き方を目指してほしい。定時で効率よく働き、子どもを早く迎えに行けるような生活を望む。
- ・ワーク・ライフ・バランスについて真剣に取り組む企業を誘致し、「ワーク・ライフ・バランスの区」として東京都内で認知される。

■地域での子育て支援について（10件）

- ・地域の方々の通学時のボランティアはとてもありがたい。いつも見守ってくれている安心感に支えられている。墨田区は地域の協力が強く、とても良い環境なので今後も交通ボランティアを始め、様々な分野で子どもを見守ることを続けていただきたい。
- ・お年寄りも多いので得意なことを学校や地域施設で子どもたちに教えてくれるような、低料金で習い事のできる環境があると良いと思う。
- ・地域のつながりが強く残っており、子ども会や敬老会など活発で、地域全体で子育てしてもらっている気がして、とても住みやすい。一方で、中学生になると子ども会がなくなるので地域とのつながりが薄くなる気がして残念。
- ・従来の町工場が閉鎖し、マンションや一戸建てに変わった。新しい住人との関わりを、地区毎だけでなく区として行政も加わり、地域力を高め、墨田区として未来の墨田区を背負う人を育てる環境づくりを提案してほしい。

■子育てしやすい環境づくりについて（9件）

- ・男性が育休をとりやすく、男性の子育てへの意識の変化を促せるような制度があると、長い目で見て子育てしやすい環境になるのではと思う。
- ・育児と仕事の両立は大変なことだが、家族の協力や友達、近所の方の助けがあると、母親の負担は軽くなると思う。いつも母親が明るく元気であることが、子どもがすくすく育つことにも通じると思うので、母親をサポートするサービスが充実している区になることを望む。
- ・子育て支援が叫ばれるようになってすいぶんたったと思うがぜんぜん実感がない。保育園の待機児童も減らないし、保育の質も落ちていると思う。2年後、3年後の絵空事より今をどうにかしてほしい。
- ・子どもがいても安心して暮らすことのできる住居・支援・サポート制度が受けられるようになるといい。

■公共施設・交通機関等の整備について（8件）

- ・墨田区の北部地域ではスポーツセンターや文化センターが充実しているように感じるが、南部、特に菊川、立川など京葉道路以南には行政サービスがほとんどなく、子どもたちが気軽に送迎なしで通える所がない。北部まで行く交通手段が少ない。すみまるバスは良い

手段と思うが一方通行で帰宅が不便。

- ・施設はいろいろあると思うが、住んでいるエリアによって利用しにくい所が多い。錦糸町の南北で交通が遮断されていて、保健センターや図書館が駅から遠く、バスや自転車でしか行けない。

■小児医療や救急医療体制・保健サービスについて（6件）

- ・耳鼻科、小児科、皮膚科など総合救急救命室などの医療システムが全くない！
- ・夜間の救急医療体制をもっと整えてほしい。待ち時間が長い。
- ・もっと小児病院や歯医者があると良い。

■自然環境・環境美化について（6件）

- ・町をもっと緑化してほしい。通学路である水戸街道沿いの排気ガスがとても気になる。墨田区は緑が少ない。もっともっと緑化に力を入れて空気をキレイにしてほしい。
- ・町にゴミ箱を置いてほしい。
- ・大横川親水公園の法恩寺橋から清平橋の区間の池が、あまりにも整備されていなくて困っている。池の水草が大人の背丈まで伸び放題で、もし子どもたちが落ちてもわからないほど。夏はボウフラがひどく、また、梅雨時期には臭いもひどいようだ。その手前の噴水の周りは定期的に清掃されているようだ。街灯も少なく、夏には変質者の話もよく聞く。衛生面、安全面、防犯面でも早めに対処してほしい。
- ・公園などは各所にあるが、古く汚い所が多くトイレも安心して使える場所は少ない。隅田公園等せっかく有名な観光地であっても、外で寝泊りしている人達が多く環境がとても悪いので早急に見直してほしい。

■子育て情報の提供について（6件）

- ・すべての子育て支援に関する情報を不定期に自宅送付し広報する。インターネットにアクセスできない家族には助けになると思う。繰り返し広報することが大切。
- ・防犯に関するすみだ安全メールをもっと早く配信してほしい。
- ・我が家の子どもたちは区外の中学校と小学校に通っている。学校単位で配られるイベントや行事の案内が全く手に入らず参加できないことも多々ある。墨田区在住で区外へ通学している子どもたちも大切に考えていただきたい。
- ・墨田区外に通学している子の親は墨田区の情報を得にくい。広報紙や回覧板などのチラシを見たりするしかない。町会の案内板に掲示したり誰でも着目に見れるようにしてほしい。

■幼稚園について（3件）

- ・区立幼稚園も3年保育にすべきだと思う。
- ・区立の幼稚園を東駒形・本所付近にも作ってほしい、遠すぎる。
- ・墨田区は幼稚園の数が少なすぎる。

■住環境について（2件）

- ・学校の近くに都営住宅があれば助かる。

■その他（12件）

- ・外国人の子育て支援。日本の教育制度への理解。日本の学級生活の説明。日本語習得への

支援。日本のお母さんたちと仲良くなれる機会づくり、などを望む。

- 専業主婦の優遇！世の中、働く女性にばかり優しいような気がする。
- 子育てに責任を持つ親の教育が必要。子どもを育てるのは誰でもない親である、近年、女性が社会に出て働くことが重要視される傾向だが、反面子育てが疎かになっている気がする。現代の子育ては重労働である。家には子どもを常に見る親が1人居て責任を持つ。もう1人の親は社会に貢献し、子どもにその姿を見せる。親の役割、責任があいまいなことが最も悪い。社会はそれを行えるよう、あくまでもサポートすべきである。

